

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2020.10.1
(令和2年)

No. 41



昭和27年10月に届いた東筑高等学校校歌の原文(東筑会館史料室に展示)

母校の更なる躍進にご協力を

東筑会会長 深田 高一 (62期)



同窓の皆様、ますますご清栄のこととお慶びいたします。

改造工事は令和2年夏に開始して、約7年後に終了予定です。建物や内装は県費予算で新しくできますが、中の什器等の予算までは皆無に近い状況にあります。

平素は東筑高等学校並びに同窓会活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度東筑会総会並びに懇親会を6月6日に開催するために、90期の皆様と準備を重ねてまいりましたが、世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、過日、同窓会役員・幹事・地域東筑会及び今年度当番幹事代表による会議を開催し、今年度の活動方針について話し合いました。その結果、令和2年度の東筑高等学校同窓会を中止することに決定いたしました。この日を楽しみにされていた会員の皆様方には大変申し訳なく、心苦しい気持ちでいっぱいです。大変ご迷惑をおかけしますこと、深くお詫び申し上げます。今はただ、未曾有の危機とも呼べるこの緊迫した状況が一瞬も早く終息に向かいますよう、そして皆様方の無事息災を心より祈念致しております。

そこで、これらに要する費用を捻出するため、同窓会において大規模改造教育環境整備事業実行委員会を組織し、「ふるさと納税制度」の摘要を受けた幅広い募金活動を展開することと致しました。募金目標額は1億1千万円として、今後、未来を担う生徒たちが恵まれた環境の中で、さらに勉学に励むことができれば、同窓生はもちろん地域の方々、関係者の方々のご賛同とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご理解を得ながら大規模改造教育環境整備事業の成功に向けて頑張っておりますので、趣旨をご理解の上、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、母校東筑高等学校の益々の発展と東筑会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

〈ふるさと納税とは?〉

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体(福岡県東筑高校)に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち二千円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限があります)。

(総務省のふるさと納税ポータルサイトより抜粋)

2021年度 東筑会総会: 6月5日(土)

総会/15:00
懇親会/16:00

アクティブリゾーツ福岡八幡
(旧: 北九州八幡ロイヤルホテル)

八幡東区枝光1-1-1 TEL (093) 662-1020

泰然自若 一本松気質

学校長 児玉 幸子



東筑会の皆様には、平素より物心両面にわたり学校へのあたたかい御支援・御協力を賜っておりますことに心より感謝を申し上げます。昨年に引き続き校長を仰せつかっております本年度は、同じく前年度からの平山篤副校長、宮原優一参事事務長に加えて、この春の人事異動により、神谷輝弘教頭をお迎えしました。歴史と伝統ある東筑高校で勤務する重責をしっかりと認識し、皆様の母校の発展のために頑張る所存でございますので、どうぞよろしくお願いたします。

ご存じのように、学校では新型コロナウイルス拡散防止対策により3月から3カ月にわたり臨時休校が続き、令和2年度は6月半ばになってようやく開始した次第です。入学式をはじめとする新入生の歓迎行事もままならない中でも、本年度の新入生121期生は、しっかりとした足取りで高校生活をスタートさせております。

4月よりの新学期は、ZOOMによる遠隔授業で始まりました。昨年まではオンライン教育を導入していなかった本校ですが、逆境に強い東筑魂で、短期間で遠隔教育のシステムを構築し、4月下旬からはオンラインによるHRや授業配信のシステムを機能させ、休校期間中の学習を進めることができました。夏休みの短縮もあり、休校中の学習の遅れは、秋には十分挽回することができそうです。また、教育活動振興費（甲子園出場基金）の一部を生徒の学習用タブレット購入費に充てていただきたき、ICT教育をさらに充実させております。今後は、体育祭等の学校行事も、三密対策を講じながら工夫して可能な限り実施していく方向です。

進学関係では、昨年度は現浪合わせて、2338名

の生徒が、東京大学・京都大学・九州大学をはじめとする難関国公立大学へ合格しました。早稲田大学・慶應義塾大学をはじめとする私立大学へは、359名が合格しています。特筆すべきは、東京大学に合格した4名のうち2名は、野球部で全国高校野球選手権大会（甲子園）を経験した生徒であるということです。志を高く持ち見事に進路希望を実現させたこれらの生徒は、まさに文武両道・不撓不屈の一本松気質を具現化させた本校生徒の鑑であり、在校生にとつての大きな励みとなりました。

第13代藤崎弁蔵校長先生が、「豪毅朴訥。質実剛健。動かざること山の如き胆力。明朗闊達。向上進取の気性。」と表現された本校の一本松気質は、明治・大正・昭和・平成・令和と幾星霜を経ても、先輩から後輩へ脈々と受け継がれ、現在の生徒の中に確実に生きています。とりわけ窮地に追い込まれた時に、先輩諸氏から受け継がれた東筑魂が大きな支えになり、逆境をものともせず、数々の偉業を成し遂げてくれています。3カ月にわたる休校という未曾有の事態にも慌てず、黙々と学問や部活動に励む本校気質は、120年もの長きにわたる伝統により培われた本校の宝であると実感する日々です。

「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず。（天時不如地利、地利不如人和）」と申します。開校以来、不動の東筑一丁目一番地一号という「地の利」に恵まれ、何よりも「東筑会」という輝かしい「人の和」に恵まれた生徒は、これから日々精進し、どんな「天の時」をもその手で掴むことができると確信しております。

これからも、職員生徒一丸となって、些事に惑わず凛として大道を歩む人材育成を目標に、教育活動に全力で精進して参りますので、今後も御理解・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

よきかな東筑 校歌のルーツをたどる

会報委員長 青野元昭

現在の東筑校歌は、実は三代目です。

初代校歌は、岡野代忠（第9代校長）の自作。

二代目は終戦前の久保勘三郎氏（6期）作詞。

その後、9年を経て昭和27年（1952年）11月3日に三代目として誕生しました。

当時の舟越節夫（第16代校長）氏が、国語科の原 勝文教諭を通して、彼の國學院大学の先輩である作家・劇作家「伊馬春部」氏へ依頼されました。

伊馬氏は、木屋瀬生まれの鞍手中学出身ですが、東筑への思い入れが大変強い方です。この伊馬氏の仲介で、國學院大学の折口信夫先生に正式に作詞の依頼がなされています。

折口先生は國學院大学元教授で、「釈 逍遙」というペンネームをもつ詩人であり歌人。日本芸術院賞を受賞されるなど大変高名な方です。伊馬氏の大学の恩師にあたります。

作曲は、折口先生の依頼を受け、山田耕作世代の音楽家である「信時 潔」氏。東京音楽学校（現在の東京藝術大学音楽学部）を卒業され、欧州5ヶ国に留学を経験。帰国後は、母校の教授として教鞭をとられています。代表曲は、「海ゆかば」歌曲集「沙羅」。

さて、東筑校歌は、三節からできており、「朝」「昼」「夜」の三分構成となっています。実際には、1番しか歌われないことが多いのですが

1番は「澄みわたる『朝』の幻：」

2番は「汽罐は『晝』（昼）を鳴りわたる」

3番は「さ『夜』深き皿倉おろし」

新校歌は、昭和27年10月に作詞が完成、同年11月に作曲が完成となりました。

折口先生は、体調のすぐれない中、病を押して校歌の作詞を始められたそうです。また、伊馬氏の案内で、実際に東筑周辺取材されています。翌年の昭和28年9月3日に他界。氏が作詞された最後の校歌となりました。

昭和28年、仰木 彬氏（オリックス元監督）と喰田孝一氏（元東筑野球部監督）がバッテリーを組み、夏の甲子園初出場を果たした際には早速歌われました。

校歌のルーツの一端にふれ、東筑の校歌がいかに素晴らしいものであるかを改めて実感しました。

校歌では日本一長いと言われる東筑校歌。美しい東筑高校のある限り、今後とも高らかに、歌い継がれていくことでしょう。

参考資料「東筑人脈」（西日本新聞に掲載）「東筑高校新聞」「東筑80周年記念誌」

※「汽罐」は蒸気機関のボイラー

令和2年度 総会報告

令和元年度事業報告・

収支決算及び会計監査報告他

6月6日(土) 予定されていた令和2年度の東筑会総会が中止になったことに伴い、本来なら総会開催時に配布予定だった総会資料を、6月25日付けで東筑会役員、地域東筑会会長、各期幹事の皆様に配布しました。内容を確認していただき、ご質問やご不明点につきましては、東筑会事務局までご連絡いただくようお願いし確認いただいたうえで、(1) 令和元年度事業報告、収支決算及び会計監査報告 (2) 令和2年度事業計画案及び収支予算案が承認されました。

令和2年度事業計画

会則第2条(本会の目的) 達成のため、令和2年度は下記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携、国内研修の支援、卒業生による講演会の講師協力、図書館の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第41号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備
- ⑦ 大規模改造教育環境整備事業の支援

令和2年度 一般会計予算書

(収 入) 自 令和2年5月1日 至 令和3年4月30日 (単位:円)

項 目	予 算	備 考
繰 越 金	1,908,019	
入 会 金	4,224,000	4,800×880人(119・120・121期)
会 費	6,000,000	2,000×3000人
基 本 金 以 外 金 雑 収 入	0	
雑 収 入	30,000	預金利息他
計	12,162,019	

(支 出)

項 目	予 算	備 考
総 会 費	500,000	当番期へ
会 議 費	130,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	200,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,200,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	270,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	90,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	740,000	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料
振 替 手 数 料	600,000	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	2,100,000	母校教育振興・定期野球大会・ジュニアス研修補助金・図書館の充実
120周年事業費積立金	300,000	記念式典費用
基 本 金	0	基本金会計へ
予 備 費	1,932,019	
計	12,162,019	

令和元年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 深 田 高 一 殿

このことについて、下記の通り報告します。

記

令和元年度「東筑会一般会計」「東筑会基本金会計」について、出納簿・証憑書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和2年5月13日

会計監査 筒 井 信 秋 ㊞

会計監査 末 次 啓 子 ㊞

令和元年度 一般会計決算書

(収 入) 自 令和元年5月1日 至 令和2年4月30日 (単位:円)

項 目	決 算	備 考
繰 越 金	1,163,482	
入 会 金	4,348,800	4,800×906人(118・119・120期)
会 費	5,862,000	2,000×2,920人・9,000×1人・5,000×1人・4,000×2人
基 本 金 以 外 金 雑 収 入	11,907	
雑 収 入	485,661	会員名簿、89期より451,814円記念誌、預金利息他
計	11,871,850	

(支 出)

項 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(90期)へ
会 議 費	125,694	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	198,715	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,004,059	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	280,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	141,060	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	81,780	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	638,408	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、コピー機トナー
振 替 手 数 料	593,037	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	1,951,078	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・図書館の充実
周年事業費積立金	300,000	
基 本 金	0	
予 備 費	0	
計	9,963,831	

令和元年度 基本金会計決算書

(収 入) 自 令和元年5月1日 至 令和2年4月30日 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
繰 越 金	16,513,039	
繰 入 金	-11,907	一般会計へ
雑 収 入	1,599	1,923(預金利息)-324(残高証明書)
計	16,502,731	次年度へ繰越

あらためて当番期を迎えて

90期会長 小野山 美緒

今夏、我々90期は大きな達成感と大役を終えた安堵に胸を撫でおろしているはず、でした。2020年、日本中が華やかで賑やかなはずだった年。思わぬ事態が世界を席巻し、今なおその格闘の渦中に在ります。

史上初の同窓会総会・懇親会中止の決定に至るまでも、またその後のご案内や各期幹事様へのご連絡等、深田東筑会々長はじめ多くの同窓生の皆様方から多大なるお力添えを賜りました。労いと温かい激励のお言葉を頂戴するたび、言い尽くせぬ感謝の念に胸が詰まり、熱いものが込み上げておりました。本当に、ありがとうございました。

我々90期は、来年度も引き続き当番期のお役目を預からせて頂く運びとなりました。本番を目前にした不完全燃焼、このまま役を降りる訳にはゆかぬという我々のやるせない思いを汲んで下さったことにも、深く感謝致しております。果たしてどういう形で会を執り行えるのか、現時点ではまだ考えが及びませんが、皆様の大変な交流の場を次世代に受け継ぐべく精一杯尽力させて頂く所存です。なお一層のご指導・鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

それにしても、「誰かと会う」ということが、こんなにも尊く愛おしいものだったとは、ごく当たり前に過ごしていた日々の暮らしが、いわば奇跡の積み重ねであったことをしみじみと実感しております。新しい生活様式などという耳慣れない言葉が飛び交うようになりましたが、受け継がれてきた伝統や文化は決して廃れるものではありません。「未来へつなぐ東筑魂」という今年度同窓会に掲げていたキャッチコピーは、我々にとって守り抜くべき「使命」と相成りました。

人の絆の温かさ、大切さ、時を分かち合える喜びを再認識し、皆様の溢れる笑顔にお会い出来る未来の「奇跡の瞬間」を心の支えに。一本松の精神で、一緒に今を乗り越えましょう！

公益財団法人

東筑奨学会 支援のお願い

会員の皆様には平素から東筑奨学会に対して多大なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、公益財団法人「東筑奨学会」は、学業成績が特に優れた生徒の範となるもの、部活動で全国大会優勝・出場またはこれに準ずる成績をあげたもの、或いは、向学心に燃えながらも経済的理由等により苦慮している生徒たちに奨学金を支給し、教育の振興に寄与することを目指しています。

ご存知のとおり、その財源につきましてもは預金利子と皆様方のご寄付で成り立っておりますが、近年の低金利等の影響を受け、最近では、奨学金支給額が約300万円に対して預金利子と寄附金の合計金額が約200万円という状況で、基金が少しずつ減少し、円滑な奨学金支給が難しい状態になってきています。こうした状況をご理解のうえ、21世紀を担う有徳の青年育成を目指す東筑高等学校の教育の充実と健全な校風の振興を援助し、更なる発展、活躍を期するため、多くの皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

※奨学基金へのご寄付は、左記口座へ振込みください。ますようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店	
普通預金	1321864
西日本シティ銀行 折尾支店	
普通預金	1735106
遠賀信用金庫 折尾支店	
普通預金	1129508
福岡びびき信用金庫 折尾支店	
普通預金	1238299
振込口座名	
公益財団法人 東筑奨学会	
代表理事 高山和幸	

令和元年度(平成31年4月) 令和2年3月) 寄付者 (敬称略)

- 事務局 〒807-0831 北九州市八幡西区則松 二丁目2番24号 福岡県立東筑高等学校 東筑会館内 電話 093-603-6815
- 公益財団法人 東筑奨学会
代表理事 高山 和 幸
- ・中島良博前校長(76期)
 - ・東筑高校母の会
 - ・東筑高校父母教師会
 - ・東筑高校卓球部OB会
 - ・東筑会総会時
 - ・東筑会ゴルフ大会時
 - ・関西東筑会
 - ・広島東筑会
 - ・吉屋東筑会
 - ・ふくおか東筑会
 - ・岡垣東筑会
 - ・遠賀町東筑会
 - ・フレンドリー鞍手町東筑会
 - ・北九州くきのうみ東筑会
 - ・水巻東筑会
 - ・宗像東筑会
 - ・小宮 董(56期)
 - ・大崎好一(59期)
 - ・柴田雅博(59期)
 - ・福井成元(61期)
 - ・三原征彦(61期)
 - ・大曲慎一(93期)
 - ・廣渡勇輝(107期)
 - ・匿名希望(111期)
- 1,786,775円

コロナに負けないオンライン同窓会を!!

組織委員長 日高 教夫 (64期)

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の日常生活や仕事等に多大な影響が生じていることと思います。

恒例の総会も急遽中止となりました。

また、各地の地域東筑会も中止延期となっています。

友との再会を楽しみにしておられた同窓の皆様も多かったことと思います。こんな時こそ、同期の組織網の強化を考える時ではないでしょうか。

今、巷ではオンラインを活用したビジネスが流行していますが、同期生の間で、オンライン同窓会を活用してはいかがでしょうか。

このコロナ感染症の流行はまだまだ続くと思われるます。

東筑会報の新しい企画

会報委員長 青野 元昭 (70期)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全体総会が中止となり、各地区の総会、同期の会合等が自粛されています。

各地区東筑会だより「各期だより」をはじめ、投稿数の減少やその内容が大きく変化してきました。しかし、この時だからこそ、東筑会員の皆様に少しでも元気を出していただけるような企画を考えました。

そこで、会報委員会では、今年度から新しい記事を掲載し、会員の皆様にお伝えしていきたいと思っています。

その内容は、「各界で活躍する同窓」からの寄稿、「部活動OB会だより」その他東筑会関連のトピックス等です。

「各界で活躍する同窓」では、各界で活躍されている東筑OBからの投稿をいただくことにしました。また、「部活動OB会だより」では、活発に活動されている部活動のOB会を紹介していきます。

これらの企画は、今後とも継続していきたいと思っています。同窓の皆様方から、様々な情報を提供していただければ幸いです。

会報委員会のメンバーは、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)、そして私の合計4名の委員です。皆様方に東筑会や東筑高校の活気や活力を感じていただき、また、更に読みやすい紙面になりますように、会報委員で協力していきたいと思っています。皆様方のご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

会費の納入率、納入金額ともアップ!!

財務委員長 三宅 正輝 (71期)

ご承知の通り令和元年6月の総会で、東筑会費の納入方法2点の変更案が可決承認され、令和元年10月から実施されています。

1 東筑会費を1年ごとの2,000円に上げさせていただく(今までは2年で2,000円)。

2 郵便局だけでなくコンビニからでも納めていただけるように納入方法を変更して、利便性を高める。

A 新納入方法(令和元年10月1日～令和2年4月30日までの「6か月間」の実績)

B 今までの納入方法(平成21年～30年の「1年間」の平均)を比較してご報告いたします。

①納入件数(件) A・B=2,898・2,169+134%

②納入金額(万円) A・B=581・446+130%

③新納入方法におけるコンビニと郵便局の利用割合 コンビニ44%・郵便局56%

皆様のご協力のおかげで納入件数が+134%、納入金額が+130%と増加いたしました。コンビニ利用者は全体の44%となっております。納入方法の利便性を高めたことが、納入件数、納入金額の改善に結びついたのだと思います。

前述したようにAは6か月間の実績なので残り半年で更に若干の増加が見込まれます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

東筑会の発展、円滑な運営のために、会費納入について今後ともより一層のご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

財務委員会のメンバーは、私のほか、副委員長林良彦(71期) 中野優子、吉田真理子(72期) 加来千里(79期)です。

本原稿執筆に当たり資料を提供いただいた事務局の藤澤先輩(65期)に感謝いたします。

令和元年度 会報発送・年会費納入状況

令和2年4月30日現在

期	元年発送	元年納入	期	元年発送	元年納入	期	元年発送	元年納入
22	2		51	319	64	80	243	25
23	2		52	321	58	81	276	36
24	4		53	354	67	82	319	45
25	3		54	425	85	83	258	27
26			55	282	63	84	272	36
27	2		56	321	95	85	280	45
28	2		57	335	113	86	252	37
29	3	1	58	300	90	87	272	32
30	5		59	361	93	88	349	40
31	6		60	316	76	89	332	25
32	14	1	61	297	57	90	298	56
33	2		62	347	75	91	291	24
34	10		63	386	93	92	282	26
35	10		64	311	75	93	262	21
36	9		65	332	85	94	219	14
37	9		66	299	67	95	225	13
38	11		67	303	74	96	225	21
39	23	3	68	318	60	97	232	19
40	26	3	69	334	71	98	269	13
41	20		70	297	70	99	242	12
42	30	8	71	312	62	100	240	13
43	39	3	72	339	70	101	261	13
44	49	8	73	262	61	102	246	15
45	41	8	74	260	60	103	263	14
46	70	9	75	291	47	104	261	12
47	67	16	76	289	56	105	282	15
48	129	18	77	276	50			
49	251	54	78	244	42			
50	309	55	79	269	32			
						計	20,888	2,924

○平成29年度納入3,248人

○平成30年度納入933人

◎令和2年度から106期生の年会費納入が開始されます。

本校のオンライン授業の取組 「先輩方に支えられながら最先端の 技術を用いた授業に挑んだ休校期間」

主幹教諭 辻本 貢 士

令和2年3月2日から、本校も他の県立高校とともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休校となりました。休校の間、担任による家庭への電話連絡や、生徒が一人ずつ分散して登校しての課題配布や担任との面談などを行いました。4月になり、新しい学年がスタートするも、4月6日に始業説明会、7日に入学説明会を行い、新学期の説明を行った時点で臨時休校が延長され、結果、5月17日まで続くことになりました。その間、本校は4月中旬に「Zoom」を利用したオンライン授業」に関して県からの指定を受け、まずはZoomホーームルームで担任、学年主任が、自宅で接続した生徒達の顔を画面で見ながら、連絡などを行いました。その後、電話連絡で接続状況の確認をし、接続できなかった生徒には再度連絡を行いました。その中で、いくつかのご家庭では、自宅にWi-Fiや容量無制限のインターネット環境がなく、長時間にわたるオンライン授業を受けることができないという問題点が明らかになってきました。東筑会の御支援で契約させていただいたモバイルルーター5台を、必要とする家庭に貸し出すことで、全生徒がZoomに接続できる環境を整えることができました。5月には同時接続が300名を超える状態での学年集会を経て、大型連休明けから、1日4時間程度のオンライン授業を各学年で行うことができました。教員も最初は抵抗がありましたが、助け合いながら新しい技術を利用した授業に積極的に取り組みました。

このような速さで、生徒全員がオンライン授業を受けられる環境を作ることができ



2年生の数学の授業



1年生の化学の授業

たのは、おそらく本校だけではないかと思えます。東筑会や東筑奨学会の皆様にも平素より現役生徒の支援を行っていただいている本校だからこそできたのだと感じ、職員一同、大変感謝しております。全員が受けることができる環境は、さらに、「Microsoft Stream」を用いた授業配信、「スタディサプリ」による、学力補充教材の充実」と、発展を遂げました。5月18日から授業が段階的に開始され、学校での授業が行えるようになりましたが、今回得られた技術や、通常授業と並行しながら、休校期間の学習の遅れを効果的に取り戻していくことに活用していきたくと考えています。

野球部2020

部長 山本 哲也

東筑会の皆様におかれましては、日頃よりご声援をいただき誠に有難うございます。

2020年の野球部は、全世界同様過去に例を見ない年となっています。

2月29日に新型コロナウイルス感染症防止のための休校が発表され、3月1日から部活動も休止いたしました。休校中は、連絡のために何度かの登校はありましたが、部活動を行うことができない日々が続きました。チームとしては校外においても活動が禁止されていたため、選手たちは各自で体力強化や素振り、キャッチボールなどを行うことしかできませんでした。新入生（121期生）にいたっては、4月7日に入学に関する連絡のため登校したただけでしたので、入部すらできませんでした。

そういった厳しい状況の中、3月の九州大会予選および4月の九州大会、4月の北九州市長杯、5月の招待試合、6月の小倉高校との定期戦が中止となり、ついに5月20日、日本高野連が甲子園大会の中止を発表し、5月25日、福岡県高野連が県独自の代替大会も行わない旨を発表しました。

昨秋初戦敗退した悔しさを胸に冬の練習を積み重ね、一回りも二回りも成長していた3年生に甲子園への「挑戦」すらさせてやれないのかと思うと、かける言葉もありませんでした。ですが、この時点でいわゆる「引退」する高校球児が出る中、本校3年生は6月末まで活動を行い、高校野球生活を全うすると言ってくれました。

緊急事態宣言解除を受け、5月26日から午前中だけですが全学年での登校が再開され、部活動も行えるようになり、新入生（部員21名、マネージャー2名）もようやく高校野球生活をスタートさせました。

さらに6月初旬には北九州で感染者が激増し10日間ほど活動休止となりましたが、6月10日からは再び通常の活動に戻りました。6月12日には福岡県教育委員会からの要請を受けた福岡県高野連が、連盟主催の代替大会を4地区に分けて開催することを発表しました。本校は「がんばれ福岡2020北九州市内高等学校野球大会」に参加し、1回戦は高校高校に16対9と逆転勝ちを収めたものの、2回戦では小雨の中、真風館高校（今大会準優勝）に4対8で敗れてしまいました。保護者以外は無観客という例年とは全く違った雰囲気の中での試合ではありましたが、3年生にとっては一つの区切りになったのではないかと思います。現在はそれぞれの進路実現に向け、受験勉強に励んでおります。

9月からは、来春の甲子園大会の出場権をかけた九州大会予選が行われる予定です。鬱々とした状況の中、同窓の皆様方、地域の方々にも少しでも明るいニュースを届けられますよう新チームは練習を重ねておりますので、今後とも応援を宜しくお願いいたします。

コロナの収束までにはまだまだ時間がかかりそうです。皆様のご健勝を祈念いたしております。

令和元年度 国内研修 大学・企業での研修を通して学んだこと

教諭 阿部 啓

本研修は、国内の先進的な研究機関や大学、企業での研修を通して最先端の技術や社会の課題を体感し、現場で活躍する研究者や社会人との交流を通して科学的知識や思考方法を理解し、課題発見能力やコミュニケーション能力を育成することを目的として行われています。関東、関西在住の各界第一線で活躍される本校卒業生や関係者を訪問し、職場見学をするとともに、懇談を通して仕事の内容や課題を知ること、東京大学、京都大学キャンパスでの研究室訪問や施設見学、講義を通して大学での学びとは何かを知り、研修の成果を全生徒に還元することが研修の概要です。

令和元年度は、120期生の25名の生徒が、令和元年12月16日(月)～19日(木)の3泊4日で研修を行いました。

研修初日

は、まず北九州から東京大学本郷キャンパスへ移動し、地震研究所を訪問し、加藤尚之教授に「世界と日本の地震活動」という講義をしていただきました。



東京大学地震研究所の講義

また、実際の免震装置や、海底地震計を見学させていただくことができ、地震研究に関する興味が深まりました。その後、地方出身の大学生で結成され、地方の高校生の進学支援を目指す東京大学所属の学生団体である「Fair Wind」の方々と一緒に中央食堂で昼食をとり、その後バネルディスプレイやワークショップなどの活動をさせていただきました。大学生の方々に、高校生時代の様々な体験談や大学での生活の様子などを聴かせていただくことができ、また、実際に大学での時間割を作成することで、生徒は大学での生活をイメージすることができたようでした。大学受験に向けてのアドバイスもいただくことができました。夜は、東京東筑会の交流会に参加させていただきました。生徒は、先輩方と積極的に交流し、様々なお話を聴くことができ、大変充実した時間を過ごすことができました。

2日目は、企業訪問でした。まず、内田洋行を訪問しました。内田洋行では、柏原孝会長(67期)にお世話になりました。「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の実現に向けて取り組んでいる様子を知ることができました。様々な業務に応じた適切な場所を選んで働くというスタイル「アクティブ・コモンズ」を見学させていただきました。また、未来の学校の在り方をモデルとして構築し、「新しい教育、新しい学習スタイル」を創り出していくことを目的としている「Future Classroom Room」で模擬授業を受けさせていただきました。

ました。生徒は時代の変化を目の当たりにして感動していました。



内田洋行「Future Class Room」

次に電通を訪れ、東京本社ビルの下にある「アドミュージアム東京」で研修、ワークショップを行い、見学をしました。松本展子氏(86期)をはじめ、東筑高校OGのみなさんに研修を企画していただき、ミラクルワードというアイテムを使った活動を行いました。「東筑高校」をテーマにミラクルワードを用い、東筑高校のイメージについて考えました。インパクトが強く人を動かす力を持つアイデアは常識にとらわれないユニークな事物の組み合わせによってできることを学びました。

次に、三菱電機を訪問し、松本大悟氏(91期)に、三菱電機ではどのような研究や開発をしているのか、様々な資料やビデオをもとに、説明していただきました。家庭から宇宙のことまで様々な事業を融合させた複合事業を展開しており、異なる技術を組み合わせて社会に貢献し、社会的な課題の解決に力を入れていることを学びました。この日の夜は、横浜中華街で夕食を食べました。東京メトロやJRで移動したことも生徒にとっては大変良い経験となったようです。人の多さ、電車がひっきりなしにやってくること、満員電車、ビルの高さなど、刺激的であったようです。

1日目、2日目は、東京東筑会事務局長の億谷和彦氏(74期)につきっきりで案内をしていただき、研修を滞りなく進めることができました。感謝申し上げます。

3日目は、東京から京都へ移動しました。京都大学吉田キャンパスでは、原田大樹教授(94期)、須田守准教授、大学院生、学部生との懇談をさせていただきました。大学選びのコツや高校生活を充実させるためのアドバイスをいただきました。原田教授のゼミを見学させていただきました。実際に今起きている



電通でのワークショップ

また、実験室を見学させていただき、生徒は興味津々でした。その後、研究室の学生さんと一緒に食堂で昼食をとりました。大学生活の様子を多く知ることができました。



京都大学桂キャンパス 風洞実験室見学

る社会問題と法律との密接な関わりを知ることができました。大学のゼミでは、学生が積極的に発言し、議論をしており、生徒も主體的に学びを深めていきたいと感じていました。

夜は、関西東筑会主催の懇親会に参加させていただきました。先輩方と交流することができました。懇親会の最後に、東筑高校の先輩方と東筑高校校歌を3番まで歌いました。

4日目は、京都大学桂キャンパスでの研修でした。野口恭平助教(106期)に京都大学のことや土木工学のこと、大学での研究のことについてお話をいただきました。また、「地球の洪水をどうやって計算する?」というテーマで田中智大助教に特別講義をしていただき、現在進んでいる気候や気象に関する研究やシミュレーションの方法などをさらに深く知りたいと感じた生徒が多くいました。

この4日間で、生徒は大変多くの経験ができ、充実した時間を過ごすことができました。各研修先で、積極的に質問をしている姿に感心しました。ぜひこれからの学校生活に生かし、また多くの生徒に還元してもらいたいと思います。感謝の気持ちを忘れずに、学年、学校を引っ張っていく存在となることを期待しています。今回の研修では、インフルエンザの流行により、4名の早退者が出てしまいました。研修先の皆様や保護者の方々に迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っています。

最後に、今回の研修を後援してくださった東筑会、ならびに東筑奨学会には心より御礼申し上げます。また、研修の企画から運営に至るまでご協力いただきました、東京東筑会、関西東筑会の諸先輩方、大学などの関係各位にも深く感謝申し上げます。参加生徒は、多くの卒業生の方々に関わっていただき、交流をさせていただいたことで、先輩方の母校と後輩たちへの熱い思いを感じることができました。生徒たちがこれからの学校生活に今回の経験を生かし、意欲的に取り組む大きな契機となりました。また、将来は自分たちが後輩たちの支援をしていきたいと強く感じております。本当にありがとうございました。



京都大学桂キャンパス

令和2年度

東筑高等学校 体育祭

テーマ

凱 かちどき

東筑高等学校体育祭が、令和2年9月10日(木)本校グラウンドで行われました。本来なら多くの来賓、家族・近隣の方々や同窓生を迎えての体育祭ですが、この度は新型コロナウイルスの感染に鑑み、観客なしの開催となりました。

少し寂しい体育祭になるか、との懸念も何のその、「全員が参加できる体育祭に！」をコンセプトに、全生徒が日ごろの成果を遺憾なく発揮して、東筑生の心意気を存分に示した、思い出に残る素敵な体育祭になりました。



応援合戦 3年生



今回初の試み 女子の綱引き(選抜)



応援合戦 2年生



俵さし 3年生チーム(男子選抜)



応援合戦 1年生



倒立競争(男子全員)

私とピアノ

3年 金崎瑞希

私は幼い頃から歌を歌ったり、体を動かしたりする事が大好きだったので、ピアノを習いたいと母に頼み、4歳から習い始めました。ピアノを弾くことはとても楽しく、どんなのめりこんでいきました。小学生の頃はピアノを演奏することがとにかく楽しくて仕方なかったのですが、中学生に上がる頃から、ただ「楽しい」という感情だけではなくなりました。それは、ステージで演奏する際に、過度な緊張により自分の思うような演奏をすることができなくなったからです。練習では出来ていた事が本番では出来なくなる事は大変悔しく、ピアノを続けるべきかどうか真剣に悩みました。高校生になってからも、本番一週間前には既に緊張してしまいましたが、舞台上で自分の理想の音に限りなく近い音を出せたときは、これ以上ないくらい喜びを感じられるようになりました。

九州本選ではスクリヤービンのピアノソナタ5番、全国大会ではショパンのバラード4番を演奏しました。辛いことも多くあった大会でしたが、これまで以上にピアノと向きあっていたので、私を大きく成長させてくれた大会だったと今は思います。どんなにピアノを続けることが大変な状況だった時でも、学校にいれば大好きな友達や親身になって下さる先生方がいて、多くの方に励ましていただきました。また東筑高校には学校の目標である「文武両道」を実践されている方が沢山います。皆が目標に向かって一生懸命努力している姿を見て、私は沢山の刺激を受けることができました。

今の私があるのは、私一人の力ではなく、日頃御指導してくださる東筑高校の先生方や友達、一番近くで見守ってくれた家族、私を支えてくださるすべての方のおかげだと心から感謝しています。これからも夢を叶えるためには多くの困難が待ち受けているとは思いますが、支えてくださる方々いくつか恩返しができるよう、より一層精進してまいります。この度はこのような機会をいただき、ありがとうございます。

金崎瑞希 賞歴

- ・第43回ビティナ・ピアノコンペティションF級九州地区本選第1位全国大会ベスト賞
- ・第73回全日本学生音楽コンクール北九州大会第1位 全国大会入選
- ・第21回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA 高校生部門銅賞
- ・第17回ありあけジュニアピアノコンクール 高校生部門第1位

税に関する高校生の作文

国税庁長官賞を受賞して

2年 稲波有珠華

暖かい陽差しを感じ、澄んだ空の青に励まされながら登校する時、とても幸せだと感じる時がある。現実には、とりわけ不満があるわけではないが、家族で食卓を囲み、美味しい食事で一日を語らうといった、ありきたりの時間にさえ、心からのありがたさを感じる時がある。税の作文は、そんな私の日常から生まれた作品で、「ありがたさ」の気持ちが詰まったものである。

の嬉しい。だからガンバレ」と、異国の地で暮らす不自由さを微塵も感じさせない笑顔を添えて、私を激励するのだ。彼女のその言葉は、私の長らく携えていた固定観念を一蹴し、彼女が歩み続けて来た「轍」は踏み固められ、後に続く者への心強い案内図のようにさえ思わせた。それは、私が「まっすぐな道でさみしい」が意図する解釈論のひとつに辿り着いた瞬間でもあった。

私は平成最後の年に、120期生として東筑高校の門をくぐった。希望していた高校での生活は、毎日が過高く乱暴に重ねられた宿題との格闘で、「学んでいける」という崇高な気持ちより、「消化」するだけやっとなという、希望や期待とはかけ離れた侘しいものだった。私だけではないと信じたが、楽しむ余裕など皆無だった。そんな私の惨憺たる高校生生活のスタートに、先生から種田山頭火の言葉「まっすぐな道でさみしい」が贈られた。山頭火というと、旅に生き、酒を友とした自由俳句の俳人として著名だが、この句に込められた真の思いなど、私には知る由も時間もなかった。ちょうどそのころ出会ったのが、作文の主人公「リリイ」である。私は、リリイのような外国人就労者について、千岐万轍の苦難の上に生きている人だという固定概念を持っていた。しかし、リリイは、兄弟の教育費や生活費の工面のために、日本で働くことが「小さい頃からの夢」で、「私、お給料から税金引かれる。引かない方がいいけど、その税金、あなた支える

に宿る温かな心で綴った作文が、令和最初の年の国税庁長官賞に輝いた。私にとっては、記憶に残る栄誉ある賞の受賞であり大変光栄に思う気持ちも勿論あるが、この作文を書くに至った、ありきたりの日常の中に存在する先生やリリイとの出会いが、私の人間力や世界観を広げてくれたことが、受賞したこと以上に心底うれしかった。

「税金」。この言葉から得る印象は、賞を手にした今でも、鬱陶しく搾取されている感が拭えない。それは、使われ方にも大いに問題があるからだと感じる。しかしその一方で、私たちが「希望の轍」を築くために、大きな期待を込めて納められたものだとしたら、今、私たちはその恩恵を、確かに享受しなければならぬ。そして、東筑高校の歴史を築いて下さった先輩方の大きな期待に応えるべく、その名に恥じず負けない轍を歩み築き続ける努力をしなければならぬ。いつか、私たちも「ありがたさ」と言ってもらえるように。

各界で活躍する同窓

今年からの新企画です。

多くの東筑同窓が各界で活躍されていますが、今年は4名の方に投稿いただきました。私たちがのよきエールとなる内容です。

●遠く思うこと

東京学芸大学名誉教授

大野 徹也 (70期)

70期の大野徹也でございます。コロナ禍、収まる気配がありません。日々奮闘されている医療従事者の皆様をはじめ、携わっておられる方々に感謝申し上げます。私は東京学芸大学で39年間、音楽(声楽)を学生に教えてまいりました。卒業生の約8割は教職に就きますが、残りのものは、舞台上に立つて歌っています。

しかしながら、この現状、歌が一番飛沫を飛ばすということで、演奏できずにいます。生活困窮者も続出の状態です。ようやく、オペラ公演も再開されつつありますが、以前のようにはもちろんいきません。私も、今は演奏する機会が少なくなりましたが、色々な舞台に立たせてもらいました。こうして今思うと、いかに世の中が、健康被害のない平穏で平和な世界が大切なのか、切々と肌感じます。

私が、この世界(声楽)に入ったのは、東筑に入り、体育館でのクラブ紹介で、男声合唱「エデンの東」を聴き、芸術の選択で音楽を取ったことに始まります。音楽の授業の時に、米倉マサ先生の耳にとまったらしく、音楽部の先輩がスカウトに来られました。当時の私は、楽譜もともに読めず、ピアノも弾けず、右も左も音楽のことはわからずに、ただ好きというだけの生徒でしたが、クラブに入り先輩方から様々な

ことを教わり、それなりに成長したのだと思います。いつしか東京藝大を目指すようになりました。振り返ってみれば、好きであり、やる気があれば思いは通ずるな、と思ったりもしました。大学院を修了して、オペラの舞台にお声がかかるようになり、色々な役を歌い演じることができました。これ、なかなか面白い人生でした(といっただけで人生は終わってはいませんが...)。



J. シュトラウスⅡ：オペレッタ
「こうもり」アイゼンシュタイン役



ワーグナー：楽劇
「ワルキューレ」ジークムント役

我が東筑から、この道を目指すものは少ないような気がします。もっと目指してくれれば後輩諸君がいたらなーと思います。私もそうでしたが、舞台上に立ちたいと夢見たときは、躊躇なくチャレンジしてみる、これも人生かなですね。

この10月22日に私としてはこの状況下での最初のコンサートに出演します。小さなホールのサロンコンサートです。客席の定員を半数にし、コロナ対策をするため、赤字になってしまいます。クラシックの音楽の世界ではまずないのですが、昼夜と1日2回の演奏を行い収入を増やす努力をしています。現在、オペラには出演というより企画・制作ということで、関わっています。チケットの売れ具合が気になったり、歌手の体調が万全かなど、今までとは違ったところで脳を使っている感じです。これから音楽界が安心してお客様をお迎えできるように早くなることを祈らずにはいられません。何かの機会にお目にかかれればと思います。そして、また東筑会懇親会で盛大に大いに飲み、語りたいものです。

大野徹也氏(テノール)プロフィール

熊西中学校出身。1972年4月東京藝術大学入学。1976年3月同大学卒業。同年同大学院入学。1980年3月同大学院修了。1980年から39年間、東京学芸大学に奉職。研究・教育に当たる。現在東京学芸大学名誉教授。この間、数々のオペラやコンサートに出演。特にヒロイックなテノールの役柄を数多く歌い、ワーグナー「ジークフリート」「タンホイザー」ヴェルディ「オテロ」「椿姫」など多くの作品に主演する。また「第九」や「宗教曲」を始め、多くの舞台に立つ。(公財)東京二期会理事、二期会副幹事長などを務めている。

●熊本大学法学部の今

熊本大学副学長

深町 公信 (72期)

私が熊本大学法学部に赴任した平成16年は、司法制度改革による法科大学院制度が始まった年でした。当初は、年間三千名を司法試験に合格させるなどのふれこみで、法学部出身者以外も可能性があるとあって、志願者が殺到しました。ところがアメリカの制度を参考にしたこの改革は、日本の司法風土に合わなかったこともあり、法科大学院人気は急速に衰えてしまいました。

元々、法学部は文系の学部としては幅広い就職先に対応したいいわゆる「つぶしのきく」学部だったので、世間からは法科大学院に行くための学部のように思われるようになり、受験生からの法学部人気まで落ちてしまいました。



熊本大学も法科大学院を設置しましたが、小規模な大学院では存続が難しく、結果的に平成26年には募集停止することになりました。募集停止決定の翌年に法学部長に就任した私の仕事は、法科大学院なしに法学部としての機能をいかに強化するかが中心となりました。

そこで「紛争解決学」というジャンルを設定するという方針を打ち出しました。司法制度改革が日本の司法風土に合わなかったと先ほど書きましたが、日本人は争いこ



旧制第五高等学校本館

とを裁判で解決するという欧米流の方法をあまり好みません。紛争解決学は、交渉、訴訟外紛争解決(ADR)、裁判などの多様な紛争解決の方法を一連のものとして捉えて、国際問題から個人間の争いまで、事案ごとに適切な紛争解決の方法を社会全般の動向を踏まえて探求する学問分野です。日本ではまだあまりなじみがありませんが、熊本大学には一般の大学院の方に「交渉紛争解決学」というユニークな専攻があり、それと法学系の法学や政治学を組み合わせることで、今より全く新しい学問分野を開拓することになりました。

この方針に基づいて、平成29年度には法学部のカリキュラムを改訂、31年度には大学院に「法政紛争解決学専攻」を設置、33年度にはアメリカの紛争解決学の中心であるマサチューセッツ州立大学ボストン校と共同で学位を授与するジョイントディグリー専攻を大学院に設置することが認可されました。

れました。

もちろん、法曹養成という法学部の中心機能もさらに強化しました。九州大、神戸大、中央大、早稲田大の法科大学院と協定を結んで、法曹コースを設置して最短で法学部3年+法科大学院2年の5年間で司法試験の受験が可能な一貫的な法曹養成教育プログラムが33年度から動き出します。

総合的な教育を行うことにより、様々な紛争パターンに柔軟に対応できる卒業生を養成するという、法学部が元々持っていた「つぶしのきく」学部機能の今日的表現とでもいえる内容の教育プログラムを提供することが可能になりました。

深町公信氏プロフィール

昭和31年 北九州市生まれ
昭和46年3月 折尾中学校卒業
昭和49年3月 東筑高等学校卒業
昭和57年3月 熊本大学法学部卒業
昭和62年3月 九州大学大学院修了
(単位取得満期退学)
昭和62年4月 九州大学法学部助手
平成元年4月 関東学園大学助教授、
教授を経て
平成16年4月 熊本大学法学部教授
平成27年4月 平成31年3月31日
熊本大学法学部長
平成31年4月 熊本大学副学長
(現在に至る)
専攻 国際法

コロナが教えてくれた事

映画監督

雑賀俊朗(76期)

東筑76期の雑賀俊朗と言います。コロナ禍が長期に渡る様相を見せ、様々な問題が

起こっていますが、今年の東筑会懇親会中止は、本当に残念でした。そしてまずは、この場をお借りして、東筑卒業生の医療従事者の皆様に感謝いたします。



中国のアカデミー賞と言われる金鶏百花賞映画祭
レッドカーペットにて、鈴木保奈美さん、
藤田プロデューサーと一緒に



映画「カノン」の初日舞台挨拶にて、鈴木保奈美さん、
比嘉愛未さん、ミムラさん、佐々木希さんと共に

私は、映画監督をやっておりますが、新型コロナウイルスは、映像界も影響を受けています。非常事態宣言以来、多数のドラマや映画の撮影が中止や延期になり、7月にやっと再開しましたが、リモート打ち合わせ、マスク着用、検温、消毒、2時間ごとの換気、コロナ対策スタッフ配備、あらゆる措置を施しています。役者さんもテストまでは、フェイスシールド着用し、本番だけ外してお芝居をしております。こんな不自由な現場ですが、撮影できる喜びに浸っております。

「コロナは人類に何が一番大切かを教えてくれた」

これは、あるアメリカの経済学者さんの言葉です。大切なものは、家族であり愛する人であり、生きると言う事。また、生きるためには「未来」や「希望」や「夢」が見

えない事が一番つらい。私たちには、「夢」と「希望」が必要です。

私は、20年以上映画やドラマを撮り続けています。日本各地で撮影して来ましたが、地元では一度も撮影した事がなく、いつか北九州市で映画を撮るのが「夢」でした。

私は、高校時代ラグビー部でしたが、ある時、腰を痛めて練習を休んでいました、東筑の友人に誘われて、映画の試写会に行きました。その時の映画は「ロッキー」でした。私は感動して興奮して、工場地帯の夜の灯を見ながら、何故か小倉から八幡の自宅まで歩いて帰りました。それが映画監督としての私の原点になっています。

(この北九州市でシングルマザーの女子ボクサーが、色々な壁を乗り越えて、最後に愛を勝ち取るストーリー)を考え、次回作映画「レッドシューズ」を制作したいと思うようになりました。

今年の12月に撮影する予定で動いておりましたが、コロナの影響で、来年2021年の6月に延期いたしました。その来年の

6月に東筑の懇親会と映画「レッドシューズ」の撮影両方が実施される事こそが「希望」だと思っています。映画制作は大人の文化祭だと思っています。映画「レッドシューズ」の皆様のエキストラ参加も募集しておりますので、ぜひ文化祭に参加してください！

撮影現場で、皆様と笑顔でお会いする事を楽しみに！

雑賀俊朗氏プロフィール

沖田中学校出身、早稲田大学社会科学部出身。(株)泉放送制作を経て、現在(株)サーフ・エンターテインメント社長。

代表作は、映画「チェスト」(角川日本映画エンジェル大賞受賞)、「リトルマエストロ」(上海国際映画祭日本映画週間2013招待作品)、「カノン」(金鶏百花映画祭 国際映画部門 最優秀外国作品)、テレビドラマ「金沢のコロンボ1」「3」シリーズ、「土曜ワイド劇場」おとり捜査官・北見志穂」等。

取材現場はいつもまぶしい！

九州朝日放送(KBC)

報道情報局解説委員長

白井賢一郎(81期)

福岡の放送局で解説委員長という仕事を担っています。取材と放送の経験を踏まえ、知識を総動員して事象の視点を提供することが使命です。ニュースを中心に、スポーツ、文化、果ては芸能まで、テレビ、ラジオのコメンテーターを担当しています。総動員(?)のベースとなる過去の現場は今もどれも鮮烈な記憶です。少しばかり

紹介させて下さい。

世界遺産になった宗像大社の「沖ノ島」。玄界灘に浮かぶ神の島です。私は1992年の元旦、その沖ノ島にいたのです。

「残したい日本」という正月番組で、島の中腹の神殿前から中継し島の神秘を全国に発信しました。千年以上に亘る露出したままの遺物を目のあたりにした時の驚愕。深い感動に感謝の思いさえ覚えました。

それから四半世紀たった2017年。世界遺産の選定を記念して、写真家の藤原新也氏をレポーターに再度、番組をプロデュースしました。

再訪して思ったのは、容易に遭難する絶海を乗り越えて、何があるかもわからない険峻な孤島に分け入り、最初に祈りを捧げた人々はなぜ沖ノ島を目指したのか?という事。一度思いを馳せると、古代ロマンの濃密な時間に暫し陥ってしまいます。

話は少し逸れますが、沖ノ島は上陸時、海中で裸をしなければなりません。私が取材などで行った裸は10回近くに及びます。特に元旦の裸は試練でした。氷点下の裸の全身の震えは半端ではありませんでした。去年暮れ、人道支援を続けていたアフガニスタンで凶弾に倒れた福岡出身の医師・中村哲さんとの出会いはかけがえのないものでした。これも1992年、私はアフガン現地の中村さんを日本のメディアとして初めて密着取材しました。20日間寝食を共にし、電気もない鈍色の大地での活動を記録しました。当時、中村さんが語っていた言葉がずっとしりと印象に残ります。

「何か一つ残るものを創りたい」
「今、住民を裏切っちゃいかん」
国際貢献という決まり文句が震む「本質」を求める人だと確信しました。

今、27キロにも及ぶ水路が、実に65万人の命を支えています。中村さんは、目標を貫き、言葉通りに形に残し、逝っていました。

今年5月、「良心の実弾」医師・中村哲

が遺したもの」という題名のドキュメンタリーを制作し、親交ある人々の話に耳を澄ませました。中村さんの人間愛と涙み、彼の生き方がなぜ人々の心を揺さぶるのか。改めて知ること、学ぶことがあまりにも多く、圧倒されました。



1992年10月 中村哲医師取材に絡み、パキスタンの難民キャンプを取材

最後は海外でのエピソードです。特派員として取材した2000年10月のユーゴスラビアの市民革命です。独裁者ミロシェビッチ大統領が、劣勢だった選挙結果を無効にしようとして、革命が起きました。ゼネストを打って、地方から詰めかけた50万人に及ぶ民衆の血走った眼、怒号。鼻の奥に燃え上がる国会や国営放送局の光景。権力が墜ちた象徴を忘れることが出来ません。権力のウソは断じて許さない。市民の怒りが厚い壁を打ち破ることに感銘を覚えしました。

僥倖ながら私の経験を記させて頂きましたが、変わらないことは出会った人々へのリスペクトです。人との対話を通じて見える本質や時代性。コロナ禍の今、人との関わりと転換期ですが、変わりなく大切にしたいと思っています。

白井賢一郎氏プロフィール

中間東中学校出身。1988年九州朝日放送。報道部配属。警察、行政担当後、テレビ朝日系列ベルリン支局長。ユーロ導入、EU統合、ユーゴスラビア革命等を取材。編成部長、報道局長などを歴任。調査報道番組「捜査犯罪」(日本民間放送連盟賞優秀)



1999年9月 ベルリンにて



2019年7月 KBCスタジオにて

部活動OB会だより

東筑には現在、様々な部活動がありますが、活発に活動されている部活動のOB会も多くあります。今年からの新企画ですが、今後とも紹介していきます。

理化部地学班OB会(野島会)

当時の顧問の故野島正敏先生を偲んで、野島会と名付けました。年間の集まり事として大きく二つあります。

一つは、新年会です。数十年前に新年に集まったおり、横矢直道先輩(68期)から「三宅は地元にいるやろ。新年会の世話をせい。」と仰せつかつて以来、毎年開催です。以前は偶数年は1月2日、奇数年は3日の開催とし、家庭の年中行事があっても隔年でどちらかにご参加いただけるようにしていました。

ここ数年は、子供さんやお孫さんの帰省など、三が日はご家族で過ごすことが以前より多くなったことを踏まえ、松の内を外して集まることにし、今年は1月11日(土)に行いました。

まず今年の1月11日に七回忌を迎えた野島先生をはじめ、物故者に黙とうを捧げ、新年会が始まりました。

あの頃にタイムスリップです。当時の思い出話や近況報告など、積もる話の大輪があちこちで花開きました。

二つ目は「秋の収穫祭」です。地学班創設メンバーの加来久幸先輩(66期)のご好意で、秋に自宅にお邪魔させていただいております。

地元の大手企業をリタイアされ、家業の農業にいそしんでおられる先輩の、田畑で収穫されたばかりの新米、ご自宅の裏山で収穫された栗、しかもお米が見えないほど

に栗一杯の栗ご飯!お料理もお得意な先輩の心のこもった数々のごちそう(味はどれも絶品です)。大いに食べ、飲み、話をする至福のひとつです。お知らせしたいことがさらに二つあります。



秋の収穫祭



まさしく「栗!」ごはん

一つ目。一昨年のトビックとして、京都大学名誉教授の酒井治孝先輩(69期)の退官記念講演会を9月22日(土)に東筑会館で開催しました。過去にも九大教授就任時、京大転出時にも講演をしていただきました。先輩は東筑現役の頃から地質学を修めると心に決め、天文・気象を専攻する人が大多数の当時の地学班にあって、一人黙々と研究され、同じく地質が専門の野島先生と専門用語を駆使して議論されていました。天文が専門の私にはもちろんチンプンカンプンでした。

当日はヒマラヤ造山運動を中心とした長い研究生活の来し方行く末、またライフワークであるネパールの学校建設や留学生の受け入れなどについて熱く語られました。先輩と私の共通の知人である特別参加のA弁護士(修猷館OB)は、連綿と続く東筑のクラブの絆の強さに圧倒された様子でした。

二つ目。野島先生の七回忌のお盆参りに皆さんで何う予定でした。コロナ騒ぎもあって「3密」を避けるために、息子さん(宏文さん72期)をお願いして、ご自宅の仏壇と戒名の写真を送っていただき、野島会の方々に転送し、「On Line七回忌」とさせていただきます。

最期に地学班OB・OGの皆さん…OB会に参加されませんか?もしよかつたら下記までお気軽に連絡をください。(一昨年のくきのうみ東筑会で後輩を一人見つけました!)

〒809-0001 福岡県中間市通谷4-2-25
医療法人 星輝会

三宅歯科医院 三宅正輝
TEL・FAX 093-246-1181
Email miyakem@cinb.or.jp
<http://miyakeshika.jp/>

名簿の整理、OB会報の発行は正田純之君(72期)がしてくれています。

三宅正輝(71期)記

剣道部OB会



酒井先輩の退官記念講演会 於東筑会館

「東筑高校剣道部OB会」の会員数は約400名であり、他部のOB会同様に、様々な社会分野で活躍をしています。会の目的は東筑高校剣道部現役生の活動を援助すること並びに会員相互間の親睦を深めることであり、そのための活動を行っております。それでは毎年の主な活動を、年の初めから順に紹介していきたいと思ひます。

まず、1月3日に現役生、会員等と交えた初稽古を行い、その後総会及び懇親会を行います。毎年初稽古には50名前後、総会及び懇親会には25名、40名の会員が世代を超えて男女問わず参加します。懇親会の場では会員に近況報告をお願いするのですが、頑張っている先輩や後輩の話に感心させられたり、各世代の現役時のエピソードに腹を抱えて笑ったりしています。(話の詳細はスペースがなくなるので省略します)。次に3月には、剣道部卒業生を会員に迎え入れるお祝いのための昼食会を開きます。



1月3日毎年恒例の
初稽古の風景(東筑高校剣道場にて)

この会の場で卒業生は、OB会員の心構えと同時に、現役時代は少し近寄り難いなど思っていた先輩会員が実はそうでないことを知ることもありません。

そして、7月に開催される玉竜旗高校剣道大会の際には、会員が大会参加にかかわる資金を援助したり、地元にいる会員や帰省した会員が直前の稽古に参加したり、大会の応援に駆け付けたりします。

また、毎月「OB稽古会」を開催し、会員と現役生、また会員同士などで剣を交えます。

以上が、年間の主な行事です。半世紀以上の世代にわたり会員があり、また現役時代の戦績や教えを頂きました先生も違うのですが、3年間同じ道場で汗を流してきた仲間として、世代を超えた交流を深めてきましたし、今後もそうありたいと願っています。

今年はコロナ禍により、現役生が目標としてきたインターハイ、玉竜旗高校大会が中止となり、またOB会も3月以降毎月の稽古会などの活動が中断しています。

最後になりますが、会員のみならず、東筑全同窓生のご健康と、早くコロナの終息することを祈念いたします。

会長 浜辺隆司(82期) 記

野球部OB会

平素から、野球部の活動に對しまして、同窓の皆様を始め学校関係者の皆様のご理解、ご協力を賜わり、野球部OB会の一人として感謝申し上げますと共に、組織力の大きさを心強く思います。

まず、野球部の歴史に少し触れたいと思います。母校は明治31年(1898)福岡県東筑尋常中学校として新設され、其の2年後、明治33年(1900)野球部が創部され、其の期間、一時中断は有りましたが母校と共に歩みを積み重ねて脈々と受け継がれて来た輝かしい歴史と伝統を有し本年令和2年(2020)創部120年を迎えました。永い歴史の中、野球部に在籍された部員数は1,300有余名(マネージャー含)。甲子園出場9回(夏6、春3)、特に平成30年3月の第90回記念選抜大会に夏春連続甲子園出場と言う東筑初の快挙は母校



令和2年1月3日初稽古の後のOB会総会・懇親会の集合写真
(ホテルクラウンパレス北九州にて)

東筑の120周年の節目に大きな花を添えました。更に、仰木彬(52期)先輩を始め他11名の方々がプロ野球球団で活躍をされるなど卒部された全員で東筑野球部の歴史と伝統を創り上げてきました。



北九州地区高校野球OB大会を終えて
平成29年7月30日大谷球場

さて、野球部OB会は現役野球部の活動支援を主な目的として活動していますが、次の業務も重要な役割と位置づけています。

- ①会員名簿の作成
- ②野球部の歴史、部史の作成
- ③野球部OB会の総会
- ④役員会の開催
- ⑤北九州地区高等学校OB野球大会(8月)、ゴルフ大会(10月)参加
- ⑥OB会会報誌「信汗不乱」の6月と12月の年2回発行・全国各所に在住するOB会員の皆様に此の会報誌を通して東筑野球部の情報①⑤を提供しています。

現役野球部の支援等は野球部現役生徒の保護者による「父母会」、「後援会(東筑野球部を応援してください有志の方々の会)」そして我々「OB会」の3つの組織で行っており各組織会長3者で情報を共有し行動を共にする様にしています。同窓の

皆様、コロナの関係で日常生活の行動が制限される等苦しい環境にありますが、細心の注意を払い同窓会総会でお会いしましょう。

会長 前田義信(61期) 記



ゴルフ大会に参加
平成29年10月26日
小倉カンツリー倶楽部

東京東筑野球部OB会

今年は、コロナウィルスの影響で様々なイベントが中止または延期となり、とりわけ、高校野球やインターハイなどの学生スポーツについては、選手はもちろん、指導者、御父兄、関係各位の思いを考えると残念でなりません。

また、同窓会を含めて、様々な会合も中止となっていますが、私が毎年、大変楽しみにしている東京東筑野球部OB・OG会も今年は残念ながら無くなってしまいました。

この会は、元々、在京OBで密やかに集まっていたものでしたが、2009年6月に菊川先輩(76期)が急逝されて以降、毎夏、OB・OGが7月初旬に大集合して、先輩を偲び、献杯を捧げながら、現役野球部諸君の夏に向けての健闘を語り合う会として、毎年続いています。

最年長は53期の大先輩から、最年少は現役大学生まで、40・50名が参加する、まさに世代の垣根を超えての大盛會となっています。色んな会社や職場などで活躍しているOB・OGが、この会での出会いをきっかけに仕事などでの繋がりが広がっている事もしばしばです。また、学生諸君におい

でも、ここでの縁から就活につながる事も良くあります。ただ、やはり、宴会も進んでいくと、話題の殆どは野球部の昔話。古くは白神監督に始まり、喰田、青野、山部の各監督世代ごとに、いつの練習が一番厳しかったとか、一番怖かった先輩は誰だ：等々、激しい舌戦が繰り広げられます。

会も後半に差し掛かると、自己紹介が始まります。現役大学生を皮切りに、若い順番に行きます。名前と年次と近況の他、出身中学からの球歴を発表するのもこの会の特徴。また、どんなに一人一分程度と釘を刺しても、年次が上がれば上がる程、エピソードトークと外野のツッコミが止まらず、延々と会話は続いていきます。

そして、最後は、当然、全員が肩を組んで、「筑紫の國の…」と校歌の大合唱と大エールで締めくくります。幹事の大仕事の一つは、この大合唱を許容してくれる寛大なお店を探してくれる事でもあります。

こんな楽しいOB・OG会も、今年はやむなく中止となりましたが、皆がコロナ禍を克服した暁には、東筑の絆を深め、語り、笑い合う夏の大会を必ずや行いますが、今から心待ちでなりません。

梅田 圭 (82期) 記



2017年次のOB・OG会



OB・OG会での挨拶
梅田さん



春の甲子園出場のお祝い会

応援部OB会

昭和28年野球部の甲子園初出場を機に正式に創部されたといわれる応援団。当時は今のように恵まれておらず、応援団員は米を持って野球部の遠征について行ったそうです。その時の応援スタイルは定かではありませんが、応援形式も時代の流れとともに受け継がれた伝統も継承しつつ少しずつ進化しています。大きな変化は、やはり2回目の甲子園出場を決めた昭和47年でしょいか。その時には名称も応援部になっていて、それまでの和太鼓中心の応援から早稲田大学のコンバットマーチを代表とする吹奏楽との融合された勢いのあるリズムカルな応援を県内では、いち早く取り入れまし



甲子園夏春連続出場
平成29年8月 第99回 夏の大会にて

た。今では他校から見学や手本にしたいと申し入れがある程の応援部に成長し、本当に今まで繋げてきた歴代のOB・OGには敬意を表します。また、そんな応援部と共に学校内で球場で声を大にして一緒に応援してきて頂いた同窓の方、地域の東筑ファンの皆様にも心より感謝申し上げます。

そんな約67年の歴史を有する応援部ですが、OB会は昭和53年に設立されました。この年は3回目の甲子園で、初勝利をあげた年でもありました。2回目の甲子園出場時の応援部員やその先輩達が中心となり、名簿作りから始めOB会設立に至ったと聞いております。3回の甲子園出場に応援部の経緯も密接に繋がって、当時の熱い思いが形になっていったと感じます。

行っています。

一昔前の男子ばかりのむさくるしい所帯ではなく、最近は女子リーダーの比率が高くなっています。指導のやり方は多少変化してきたかもしれませんが、今までの伝統・演舞・ふるまいなどしっかりと教えていければと思います。

最後になりますが、近年は野球部はもろんのこと、ラグビー部等の試合でも応援させて頂き、また定期戦での全校応援、入学式・体育祭での演舞披露と学校関係者には大変感謝申し上げます。同窓の皆様におかれましては、また必ず来るであろう甲子園アルプス席での大歓声を共に上げられることを願っております。

会長 川地啓輔 (88期) 記



甲子園夏春連続出場
平成30年3月 第90回 春の選抜大会にて

ボート部OB・OG会

ボート部(漕艇部)は、福岡国体へ向けた県のボート競技の強化策として昭和59年に創部されました。当時1年生だった85期が初代の部員ですので、これより上級生の先輩方には馴染みが薄いかもれません。

練習場所には、三菱ケミカル（旧三菱化成工業）様のご厚意により、創部時より同社の瀬板貯水池を使用しています。現在、貯水池周辺は瀬板の森公園として市民に開放されており、水上で練習中の部員を見かける機会が多くなりました。

母校の中では歴史の浅い部活ですが、平成20年頃から九州大会では3位以上入賞の常連となり、優勝も何度か経験しています。全国高校総体では、平成24年に男子クォドルブル（4人乗り）が4位、26年に女子ダブルスカル（2人乗り）が6位、29年にも女子ダブルスカルが5位と好成績を収めています。卒業後に大学や実業団で競技を続けるOB・OGも多く、日本代表に選ばれた方もいます。現役部員とOB・OGの活躍が相まって、我が国のボート界では、「東筑」の存在感が大いに増しています。

一方、OB・OG会としての活動は、活発とは言えない状態が長く続き、数年おきに有志で親睦会を開催するといった程度でした。しかし、後輩達が九州や全国で活躍するようになるにつれ、OB・OG会を強化してボート部を支援しようという機運が高まり、平成30年12月に正式な組織として「ボート部OB・OG会」が発足しました。

本会の主な活動は、年一回の総会・親睦会の開催、大会での母校の応援などですが、特に注力したいのはボート部の活動支援です。部活動に不可欠な艇は4人乗りで250万円、オールも一組7万円と高価で、遠征の際にはこれらの輸送費も必要です。本会ではようやく遠征費の一部を支援できるようにになりましたが、将来的には艇やオールの購入を支援して、ボート部のさらなる発展に貢献したいと考えています。

目下の課題は会員の掘り起こしです。300名程度のOB・OGがいると推計していますが、まだ2割程度の把握にとどまっています。ボート部の持続的な活動と発展のためには多くのOB・OGの支援が必要です。この紙面で本会の存在を知った

OB・OGがいましたら、ぜひ一報ください。

連絡先: trcalumni1984@gmail.com
副会長兼事務局長 新町充人（86期）記



令和2年7月5日 がんばれ福岡
2020 ボート部集合写真



令和2年7月5日 がんばれ福岡
2020 女子クォドルブル

吹奏楽部OB会

今回、東筑会会報内で部活動OB会の活動紹介をぜひやってほしいというご依頼をいただき、稚拙な文章で恐縮ではありますが

が活動紹介をさせていただきます。

我々東筑高校吹奏楽部OB会は、現在主に左記のような活動を行っております。

1. 東筑会懇親会における校歌演奏での当番期への協力
2. 東京東筑会でのステージ演奏
3. 高校野球の応援における演奏の賛助
4. 吹奏楽部現役生への援助
5. 吹奏楽部定期演奏会での賛助出演
6. 不定期に開催される懇親会

他の部活動のOB会と違うところを述べてみます。演奏するという点においては現役高校生とOB・OGがやっていることは全く同じ行為ですが、例えば炎天下の球場で演奏するということは非常に体力を消耗しますし、またステージでの演奏はそれなりの緊張を伴いますし、練習もそれなりにしないとイケません。その分現役の高校生に一番近い感覚を得られるのも醍醐味ではないでしょうか？

昨年の高校野球県大会準決勝では吹奏楽コンクールと日程が重なってしまい、OB・OGのみで演奏に臨みました。結果は残念ながら敗退してしまいましたが、その試合の両校の応援が高野連より応援優秀賞に選ばれ、とてもいい思い出になりました。また近年のこういう演奏活動を行っている中で、「数十年ぶりに楽器を演奏した」とか、「こういう活動をきっかけに楽器を再び始めた」というOB・OGも意外と多く、こういう話を聞くと嬉しくなります。

さて、このコロナ禍の中で様々な活動が制限されていますが、我々の活動で何ができるかを模索した結果、校歌のリモート演奏に取り組み、フェイスブック内で限定公開させていただきました。

大変な時期ではありますが、この状況下においても、OB会としてこれからも楽し

める活動を模索して、交流の場を広めていきたいと思っています。

東筑高校吹奏楽部OB会は、これからも演奏等を通じて皆様と接する機会が多いかと思いますが、どうぞ応援よろしく願いいたします。

事務局長 本武浩（87期）記



第101回 高校野球県大会準決勝 応援優秀賞



2019年 東筑高校校歌演奏に集合のメンバー

ラグビー部OB会

毎年12月に東筑ラグビー部OB会会報を発行し、現役の今シーズンの公式戦及び練習試合の戦績、花園予選の観戦記の掲載等、情報提供を行なっています。監督、キャプテン、OB会会長、保護者会会長より今シーズンの感想、来シーズンにむけての激励の言葉を掛けています。さらにOBからの投稿も掲載しています。

年間のスケジュールは、ゴールデンウィーク期間中にある新入生歓迎会、各OBに呼びかけて出席し新入生及び上級生への激励をしています。また、同期間中の練習試合の観戦をしています。8月には鹿児島遠征で3泊4日の夏合宿を行なっており、OB会として合宿資金の支援を行なっています。

8月終わりには保護者会、OB会一体となつて花園予選に向けて激励会を開催し、現役の花園予選に向けた決意表明、OB会保護者会により激励の言葉を掛けて花園予選に送り出しています。10月より花園予選が始まるので、各OBにもメール及びホームページにて日程と試合会場を知らせ、応援を呼びかけています。花園予選で敗退するとその時点で3年生の部活も終わりとなり、OB会報の作成準備に取り掛かります。監督、キャプテン、保護者会会長、OB会会長及びOB4名程度に原稿依頼します。12月中旬に発行し会員に会費納入のお知らせと合わせて送付しています。昨年度は第40号を発行しました。

翌年の1月3日には、初蹴りがあり現役は練習、OBは若手中心の有志によるミニゲームを行い懇親を深めています。その後、OB総会を開催し、事業及び決算報告及び来期の事業計画を報告し承認を得ています。その後3年生の送別会を行い、OB会より、マネージャーを含めた3年生全員に、選手には自分のポジションの背番号、マネージャーには好きな背番号の入った博多人形

のラグビードールを贈呈しています。また、偶数月の15日に、OB有志にてフイフティンクラブを開催し、ラグビー談議に花を咲かせ、親交を深めています。今年度はコロナの影響で現役は例年通りのスケジュールで夏合宿も出来ていませんが、OB会として出来る限りの支援をしていきます。

会長 敷田寿則(75期) 記



8月31日の決起集会



1月3日 初蹴り

募金のお願い

東筑生の学びの環境改善にご支援を

東筑高校教育環境整備事業実行委員長 深田 高一

昨年度の会報でお伝えいたしました校舎改造工事が、本年7月、体育館・武道場改造工事を皮切りに始まりました。

この校舎改造工事により、東筑生の学びの環境は、これからの教育に最適なものに大きく改善され、母校の更なる躍進が期待されるところです。

つきましては、昨年度もお願いいたしました通り、今回の校舎改造にあたり県費等では整備されない机・椅子・ICT機器・体育館舞台幕等の補助を、同窓会が中心となつて行いたいと考えております。

募金活動は4月より始まっており、すので会員の皆様のお手元には、振込用紙が届いているかと思いますが、既に募金を行っていただいた同窓の皆さま、誠にありがとうございました。引き続き募金活動は行なって参りますので、大変厳しい経済状況の中、誠に恐縮ではございますが、何卒、事業趣旨をご理解いただき、母校東筑の教育環境充実のため、募金活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



完成予想図:中庭の機械室が図書館(1階)、パソコン教室(2階)になります

ちなみに工事計画は次のとおりです。

- 体育館・武道場改造工事(令和2年度)→教室棟・食堂改造工事(令和3年度)
- 教室棟改造・図書館棟新築工事(令和4年度)→図書館新築工事(令和5年度)
- 特別棟改造工事(令和6年度)→プール棟・図書館棟改造工事(令和7年度)
- 東筑会館改造工事(令和8年度)

各地区東筑会だより

東京東筑会

新型コロナウイルス感染症（COVID 19）に対する緊急事態宣言以降、ご多分に漏れず活動停止状態に陥りました。幹事会、役員会、総会もすべてオンライン会議で開催し、すべてスクリーン越しのコミュニケーションです。

今後の活動は、新型コロナウイルスの状況次第ですが、次の通りです。

1. 懇親会中止
2. 新歓バーベキュー大会…10月下旬～11月初旬
3. げってん会（ゴルフ）…11月頃
4. その他の活動も様子を見ながら徐々に再開を検討することになりました。



軒なみ活動中止のなかでの、楽しかった東筑落語会（なかの小劇場）



東京大学地震研究所を訪問
（母校の現役高校生による2019年国内研修）

毎年、東筑の現役高校生が上京する機会、まずは囲碁・将棋やボートの全国大会でしたが、今年度は軒並み中止になりました。また、年末の高校生研修も、今年は中止の方向で検討中と伺っています。こちらも、大変残念な状況ではありますが、やむを得ないですね。

特に、ここ数年、目覚ましい活躍を見せてくれている囲碁部が、今年は1年生の入部者がまだ1人もおらずご苦労されているとの話を聞くにつれて大変な状況であるのを感じています。

このような状況なので、今年は昨年度の活動から2点のイベントにより、東京東筑会の活動紹介とさせていただきます。

1. 89期実行委員長「林家さく磨」師匠による「東筑落語会」。なかの小劇場を貸し

切って東筑生限定寄席を実施したのは、大変楽しいイベントでした。

2. 現役高校生による東大地震研究所訪問
地震大国日本の地震研究最前線の現場で、実際に東大の先生による講義を受けることができたことは、貴重な経験でした。キャンパス内は銀杏の落ち葉が敷き詰められ、象徴的に感じたこと。参加者1名が、インフルエンザに罹患して途中で帰路に就かざるを得ず、残念だったと思いますが、きっと将来の良い思い出となることでしょう。

副会長 億谷和彦（74期）記

上総東筑会

上総東筑会は主に千葉県の上総地区（君津、木更津、富津、袖ヶ浦）ならびに千葉市在住の方々で構成する会員数60名程度の比較的小規模な同窓会です。毎年3月に懇親会を開催しており、今年も3月6日（金）に開催するよう準備していたのですが、コロナ禍のために夏頃への延期を決め、更に最近では全国的に第二波に見舞われているため、通常の懇親会を断念してオンラインでの懇親会（第30回懇親会）を7月31日（金）に実施しました。最近では電子メールによる相互連絡も行っておりましたので、スムーズに実現にこぎ着けることができました。

懇親会には、東筑会本部（北九州）からは90期の小野山美緒当番期実行委員長、東京東筑会からは億谷和彦副会長（74期）、中村実さんと黒瀬暢子さん（共に90期、東京東筑会懇親会事務局）に参加いただきました。今回は参加者10名と、従来の懇親会よりは少なかったのですが、楽しい時間を過ごせて、あっという間の2時間でした。オンライン懇親会は直接会えないデメリットはありますが、全員が一つの話題に集中することで親密度が増したようにも感じます。参加いただいた皆様、ありがとうございます。

いました。

次回の上総東筑会懇親会は通常の懇親会として開催できることを信じていますが、今回、オンライン懇親会の可能性についても把握できましたので、今後はオンラインもうまく使いながら会員の交流を図っていきたいと思います。今回参加できなかった上総東筑会の皆様には次回の企画でお会いできるのを楽しみにしております。また、かつて上総地区におられて転勤等でこの地を離れている方々にはオンラインでの懇親会等を開催する場合は、是非気軽に参加いただけると幸いです。

コロナ禍が早く収束し、来年、本会・各地域の懇親会が再開できることを祈っております。

事務局 高浜義久（88期）記



オンライン懇親会

東海東筑会

令和元年から令和2年にかけての活動を報告致します。

令和元年7月21日(日)、揖斐川丘苑にて納涼会を開催し、18名が参加しました。揖斐川沿いの季節ごとの土地の名産を提供してくれる料亭で、鮎三味のお料理を美味しくお酒とともに堪能し、世代を超えて交流を深めました。お料理の目玉は鮎の炭火焼きで、目の前で少しづつ鮎が焼けていき次第に漂ってくる香ばしい香り、焼き上がりを待ちわびながら会話が弾みました。部屋の外には美しい日本庭園が広がり、心と空間で楽しい時間を過ごしました。

10月19日(土)には、恒例のてくてく会を開催、14名が参加しました。今年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀との所縁の岐阜県可児市を訪ねての歴史散策と、世界最大級のバラ園が見頃の花フェス



恒例のてくてく会、参加者14名(花フェスタ記念公園にて)



2019年納涼会(7月21日 揖斐川沿いの料亭にて)

タ記念公園を楽しむの2本立てのプランとしました。あいにくの天候で残念ながら歴史散策は断念することになりましたが、綺麗に咲き誇った花々を見ながら公園を散策する時間は大変有意義でした。

令和2年1月18日(土)は創作和食『えん』J-Rセントラルタワー店にて新年会を開催し、15名が参加しました。55期から110期まで幅広い東筑OB・OGが集い、大変盛況な会となりました。

第34回東海東筑会総会は令和2年4月19日(日)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、残念ながら中止と致しました。夏のイベントも企画を断念しました。

東海東筑会は、近年若い世代の会員も増え、更に世代を超えた交流が盛んになってきております。今後は、世の中の情勢を考慮し、新しい交流する場の提供を考えていく必要があると考えております。

東筑会のますますの発展を祈念しております。

事務局長 服部悦子(85期) 記

関西東筑会

関西東筑会では例年、5月の総会・懇親会を終えた秋頃から翌年春頃にかけて、各支部が様々な企画を考えて、関西の名所巡りをしています。今年は新型コロナウイルス感染防止の為、全ての企画が中止となってしまいましたので、昨年の様子をご紹介します。

○トロッコ列車と祇園白川散策(2019年11月23日 京都支部企画)

なかなか予約を取ることが出来ない悲願の嵯峨野トロッコ列車に30名で乗車しました。定員オーバーのため乗車できなかった会員は天龍寺拝観など嵐山を散策しました。その後、祇園白川の風情ある街並みを名ガイドさんの案内のもと散策しました。最後は懇親会、祇園の名店で日本酒や焼酎など普段なかなか飲むことが出来ないお酒を堪能しました。

○カワサキワールド見学とクルージング(2019年10月5日 兵庫支部企画)

少し汗ばむくらいの好天の中、総勢43名でメリケンパークに赴きました。カワサキワールドでは、近代日本の発展を支えてきたモノづくりの変遷を学び、湾内一周のクルージングでは、ホテル、豪華客船、商業ビル、潜水艦など、カモメ飛び交う船上から360°パノラマで観賞しました。懇親会場はビルの18階で、海山両方に広がる神戸らしい夜景を楽しむことができました。

○太陽の塔の内部見学と民族学博物館見学



内部見学する太陽の塔の前をバックに
(平成30年3月 万博記念公園)



カワサキワールド見学と神戸港クルージングの43名
(令和元年10月)

(2019年3月30日 大阪北支部企画)
総勢40名で万博記念公園を訪れました。今回の目玉企画の「太陽の塔の内部見学」の中に入ると真っ赤な空間に「生命の樹」が

あり、復元された「地底の太陽」もあり、壁全体の音響システムなどどれも50年前のものとは思えない斬新さで、エネルギーに満ちていました。階段を登りながら生命の進化をたどり、過去から現在そして未来へと続く岡本太郎のデザインに圧倒されたひと時でした。次は「国立民族学博物館」を観覧。広い館内には様々な民族文化が展示されており、世界を一周し最後は日本にたどり着く構成になっていました。

事務局 河部伸治(86期) 記

広島東筑会

令和元年11月23日(土)、第34回広島東筑会を広島ガーデンパレスにて開催いたしました。来賓として、兄玉幸子東筑高校校長、深田高一東筑会会長、東筑会当番期(90期)小野山美緒会長をはじめ役員5名、関西東筑会当番期幹事(87期)村上敦信代表、東京東筑会 億谷和彦(74期)事務局長のご臨席を賜り、総勢37名の賑やかな会となりました。

高橋昭八郎会長(当時)(50期)による開会挨拶、深田東筑会会長による乾杯のご発声に続き、広島カープの2019年シーズンの戦いを労い、高ヘッドコーチ(84期)井生・元スコアラー(98期)への花束贈呈を行いました。続いて、兄玉校長から様々な場で活躍している現役生達の近況をご報告いただきました。

恒例のカープ・アワーでは、高ヘッドコーチが2019年シーズンの振り返りと、来シーズンに向けての抱負を熱く語って下さいました。アーティスト・アワーでは、後藤さん(61期)による最新作の展示と解説をいただきました。ミュージック・アワーでは、私くし田中(90期)の独唱に始まり、ピアノ・柳原さん(74期)、ヴァイオリン・田代さん(77期)、アルトサクソス・高橋

さん(50期)による「Danny boy」と「Shall we dance?」の太変素晴らしい演奏をご披露いただきました。会の終盤では、カープ応援歌「それ行けカープ」と東筑高校校歌を全員で合唱しました。億谷さん(74期)のトランペット伴奏に緒方さん(90期)の演舞も加わり、例年以上に盛り上がりました。合唱後には、東筑会総会案内とチケット販売を当番期役員の皆様に行っていたいただきました。最後は村田さん(57期)による一本締めにて幕を閉じました。

最後になりますが、この度、高橋昭八郎(50期)広島東筑会会長の後任として田中



広島東筑会 広島ガーデンパレスにて

健路(90期)が務めることとなりました。これまで築き上げて来られた広島東筑会の暖かな雰囲気と継承し、広島在住の同窓生の皆様の絆を深められるよう努めてまいります。

会長 田中健路(90期) 記

ふくおか東筑会

中洲のほど近く、博多中心部の冷泉公園に通称「健さん桜」が力強い深緑の葉を茂らせています。私たち、ふくおか東筑会が大先輩の高倉健さんを偲んで記念植樹したソメイヨシノで、若木を植えて早や5年あまりが経ちます。それはもうぐんぐんと大きくなり、春には爛漫の花をほころばせることはもちろん、その樹勢は、わきに据えた「贈・ふくおか東筑会」の石柱を少し傾けるほどです。新型コロナウイルス禍にあっても、その生命力の強さを感じずにはいられません。

今年の3月下旬「健さん桜」が咲き誇る頃に、当番期の方々をお迎えして有志による花見懇親会を開催しました。当日は穏やかな雨で会場を別に移しての集いとなりましたが、この時期の当番期の皆さんは今年の本校東筑会総会をどうするか、まさに思案の真最中。「年に一度の総会で、お互いが再会できることを毎年楽しみにしている先輩方がたくさんいらっしゃる。安全第一として何とか開催できないものか」熱い思いをおつづけていただきました。結果としては順延となってしまいましたが、お酒を酌み交わしながら大いに交歓いたしました。

当地「健さん桜」のある冷泉公園一帯は福岡大空襲で最も被害の激しかった場所です。福岡市における戦後復興と再生のシンボルです。新型コロナウイルス禍がいち早く終息して、同窓の仲間が再度この桜の下に集えることを強く願って止みません。冷泉公園は博多祇園山笠などの祭事を執り行う櫛田神社の



咲き誇る「健さん桜」の下で 福岡市・冷泉公園

すぐ近くに位置しております。皆様も福岡を訪れた際は是非「健さん桜」をご覧ください。桜花の下でぜひお会いしましょう。

事務局 富増春樹(69期) 記



芦屋東筑会

会員の皆様、芦屋東筑会会長を務めさせていただきます。62期の徳田徹と申します。

新型コロナウイルスに翻弄され、新たな生活様式を強いられるなかで、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、第43回芦屋東筑会総会・懇親会は、令和元年10月26日(土)に「かねやす 芦屋店」で開催いたしました。当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」、近隣七つの地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ38名のご臨席を頂きました。

第一部の総会では、物故者への黙禱に始まり、ご来賓の紹介・祝辞、議案の承認と悪無く終了しました。役員一同、これから情熱を持って芦屋東筑会の運営に取り組んで参る所存です。

第二部の懇親会は、校歌斉唱から始まり、会員、ご来賓歌い終えた頃には、誰もが学生時代に戻ったかの様な和やかな雰囲気となり、どのテーブルでも昔話に多くの花が咲いていました。毎年恒例の豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、歓喜と落胆の声が交錯しながら、盛会のうちに終了の時を迎えました。会場の外では次回総会での再会を期し、いつまでも別れを惜しむ方で溢れていました。

参加された多くの会員の皆様のご協力により令和元年度の総会・懇親会が盛会のうちに終了できましたこと、心より感謝し厚くお礼申し上げます。特に本校同窓会当番期の方々には、受付や案内・接待などをお手伝い頂き、また、懇親会でも大いに盛り上げて頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

芦屋町に縁のある皆様、芦屋東筑会への入会や総会参加をお待ちしております。今後とも会員の皆様とともに、芦屋東筑会の運営・発展に努めて参ります。

会長 徳田 徹(62期) 記

岡垣東筑会

令和2年度(第45回)総会・懇親会を、5月23日(土)「葡萄苑」にて開催すべく、諸準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、岡垣東筑会もご多分に漏れず、止む無く中止いたしました。

一年に一度の総会・懇親会を楽しみにされている会員の皆様には、その機会を提供することが出来ず、大変申し訳なく思いましたが、なにより会員の皆様及び関係者の方々の健康・安全を第一に考慮し、「中止も止む無し」との結論に達しました。

総会中止に伴い、各議案の審議・承認手続きが未了となりますが、経費面の制約から書面決議の方法は採りませんでした。

一方、コロナ騒ぎが起きる前に作成作業を進めておりました「岡垣東筑会会報(第34号)」を4月1日に発行し、18日(土)に「総会・懇親会中止のお知らせ」(例年ですと、総会・懇親会開催案内及び出欠通知はがき)に同封して会員の皆様へお届けいたしました。

この「総会・懇親会中止のお知らせ」の文中に「中止により、役員改選、決算・予算、事業報告・計画等の議案が未了となりますが、役員については全員留任、他の議案につきましては、総会・懇親会費用を除いて、例年を踏襲することで進めさせていただきます」と存じますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。」との一文を加えて、会員の皆様のご了解をお願いしたところです。

来年度の総会では、これらの事柄についても詳しくご説明する所存です。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況は、関係各位のご努力にも拘わらず、未だ終息への道筋も見えない状況ですが、自身が感染しない、また、他者へ感染させない、慎重な行動を心掛けたいものです。

そして、来年は今年のうつ憤を晴らすか

のような盛大な総会・懇親会が開催できまことを、心から念じております。

会長 占部義和(67期) 記

フレンドリー鞍手町東筑会

恒例、秋の日帰りツアー

昨年10月23日、フレンドリー鞍手町東筑会恒例となっております秋の日帰りツアーを開催しました。今回は門司港レトロ地区、JR門司駅舎そのほかの見学とプレミアムホテル門司港にあります「イタリアンレストラン ポルトーネ」の食事です。

最初に訪れましたのはJR門司駅舎です。昨年3月、復元耐震工事が完了し駅舎の見学が可能になりました。市のボランティアガイドさんに案内をお願いし、あちこち見所を見て回りました。九州の鉄道の終着駅、戦前、大陸への玄関口として栄えた門司港を代表する建物です。港町の風景に溶け込んで堂々とした佇まいでした。

続いてすぐ近くにありますプレミアホテル門司港へ。ホテル2階にあります「イタリアンレストラン ポルトーネ」、しつとり落ち着いた雰囲気のお店です。美味しいコース料理と赤白のワイン、そして持ち込みの純米吟醸酒。飲めない方には申し訳なかつたのですが、十分に頂きました。

このあと出光美術館へ。「仙厓と禅の美」という特別展が開催中でした。仙厓の作品がここの門司で見られるのはそうたくさんはありません。良い機会でした。

観光物産館で買い物をしたのち帰路につき、出発地「くらの郷」に帰り着いたのは夕方5時を少し過ぎた頃でした。

今年に入って新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。私ども鞍手町東筑会ばかりではなく本校、各地の地域東筑会の総会はどこも中止・延期となつてしましました。同窓会に「三密」はつきものの、ウイ



「イタリアンレストラン ポルトーネ」での食事会



復元されたJR門司駅舎前の広場に

ズ・コロナの時代の同窓会活動がどうなるのか気掛かりです。この窮屈な生活から解放される日はまだ遠い先のようにです。会員の皆様のご無事を念願しております。

事務局長 梶栗浩二(69期) 記

北九州くきのうみ東筑会

総会・懇親会

中止となりましたが:

東筑会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から当会に対しまして温かいご支援ご協力を賜りまして心から厚く御礼申し上げます。

当会では、本年11月14日土曜日に総会・懇親会を開催させて頂く予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から誠に残念ながら中止させて頂くことになりました。例年多数の同窓生の皆様方にご参加賜り、楽しみにしていた方々もいらつしゃったことかと存じますが、謹んで中止のお知らせをさせて頂きます。先の役員会では中止の是非について参加者全員で協議致しました。「ウィズ・コロナを見据えて出来る方法で実施を検討しても良いのでは?」という意見もありました。が、「東筑高校同窓会では感染者は出せない」「実施の為の準備会合自体が感染リスクになる」など、大多数の参加者が感染防止を優先させるべきだ、との意見でした。

決算につきましては、役員会で執り行い監査を経てホームページで公開させて頂きます。2021年度総会・懇親会を11月13日土曜日に例年通り「ホテルクラウンパレス北九州」にて開催予定です。ソーシャルディスタンスをご配慮下さり、例年の1.5倍の会場を確保すること。同ホテルには心から厚くお礼申し上げます。私共一同来年こそは、皆様と共に楽しい交流のひと時を過ごすことが出来ます様切望しております。近隣の同窓生の方々にもお声がけ下さり、多数の皆様方のご参加を願っております。懐かしい東筑生時代に立ち返り、想い出話に花咲かせ、目一杯楽しく充実のひと時を過ごすことができるように、今から心待ちにしています。

皆様におかれましては、新型コロナウイルスに負けず、どうぞお元気で、益々のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。

会長 夜部栄子(57期) 記

ひのくに東筑会

熊本県内も全国的な新型コロナウイルス禍で8月24日現在で、感染者が累計474名となり、今だ、終息に向かっている感はありません。全国的な非常事態宣言発出時には「籠城じゃ」「ポスターに触発され、繁華街も人通りも無く感染者数も他県と比べても極端に少なく推移していました。が、宣言解除後は大きなクラスターが発生し現在に至っています。

ひのくに東筑会の年中行事も3密集会を避け、殆どの活動が停止状態です。

加えて7月4日から10日にかけての豪雨にみまわれて、ダブルパンチを食らった状態です。8月24日現在で県内死者65名、行方不明者2人となっております。県北の菊池川流域や県南の球磨川流域の被害は甚大です。今般国の激甚災害指定を受け災害地域の復旧にも拍車がかかるでしょうが、今少し時間がかかりそうです。

熊本地震の復興に向け「頑張るばい熊本」を合言葉に県民の心をひとつに進んできていますが、今回のコロナや災害も含め今一つ踏ん張りです。

前回ご紹介した「まちなか複合施設校町」に続き、現在は熊本周辺の開発事業が急ピッチにすすんでいます。

駅前広場は市電、路線バスの拠点施設の充実とともに地震等重大災害時の避難場所としての機能を有し、駅舎南側には小倉駅でもおなじみのアミューズとホテル併用のビルが、北側にはオフィス専用ビルが建設中です。

今年秋にはオフィス専用ビルが、来春にはアミューズとホテルが営業開始の予定です。熊本は元気なヒトと自然豊かな街で

す。

コロナが終息した折には元気な熊本を実感しにおいでください。

事務局長 柴田泰行(64期) 記



非常事態宣言ポスター



急ピッチで進行中の開発事業 駅前広場完成図

北海道東筑会

故郷を離れて半世紀近くたつ大先輩から地元北海道大学に通う青年まで世代を超え

で、春の総会、肌寒い夏のビール会、厳冬の忘年会と3度も楽しい思いを享受させていただいております。毎回、順番に語られる近況報告を皆さんが楽しみにしております。

また、昨冬は北海道旅行で声を掛けてくださった先輩と東筑会を開催することができ、小さいながらのフットワークを発揮しています。

この春と夏は残念ながら集って懇談することができていませんが、オンラインで懇親するのによい所帯ですのでこの会報がお手元に届くころには、家人に笑われながらも自宅でPCに向かって大きな声で校歌を合唱しているのではないかと、小さな夢を膨らませております。

皆様どうぞ、お体に気を付けてお過ごしください。

再会を心待ちにしております。

事務局長 白石 誠(82期) 記



厳冬の北海道東筑会忘年会

各 期 だ よ り

39期だより

世界に雄飛せよ東筑健児

令和2年3月、東筑高校118期生がめでたく卒業されました。オメデトウございます。私は昭和15年3月、39期生(97歳)として79年前の先輩として生きています。39期は、大東亜戦争、第二次世界大戦の学徒出陣で旧制大学1年の時、陸海軍に召集され、即製パイロットとして訓練され、昭和20年、沖繩特別攻撃隊には、39期の3名の学友、旗生良景君、本庄繁君、友枝幹太郎君が散華し、沖繩陸上激戦で散った冷牟田善秀君、ビルマで散った中村徳平君、その他多くの学友の御冥福を只管お祈り申しあげています。

私は不可思議にも、4回の戦死のチャンスと、神仏に見逃されました。第1回は1ヶ月の差でニューギニア戦へ行けず。2回目は、甲種幹部候補生に合格し、豊橋第一陸軍予備士官学校へ行き、乙種の人はビルマへ行く。3回目は士官学校卒業後、中支派遣軍に出征のところ護衛艦不足のため行けず。4回目は敦賀の歩兵連隊の第三弾薬庫の大爆発で15分の差で爆死をまぬがれました。

4回も戦死のチャンスから見逃され、戦死された学友に申し訳なく念仏の日々を送っています。

戦後、人が人を殺す戦争というものもなくし、平和を愛し、守る日本の子供を育成するために、教師となりました。岡垣中学では、英語と社会を、内浦小では校長として、「国旗、国歌」の定着を実

東筑会2020プレミアムグッズの紹介

令和2年(2020年)度 福岡県立東筑高等学校同窓会の為に当番期が考案・製作していたグッズをご紹介します。

今年度のテーマは「TOCHIKU2020「未来へつなぐ東筑魂」、TOCHIKU2020のロゴマークと、未来へつなぐ「エコ」の観点から、リサイクル素材を使用するなど、皆でアイデアを出しあいました。

①東筑エコバッグ2020

創立110周年記念で製作・寄贈された48期・石川匡宏先生による「文武両道」「質実剛健」の篆刻(※)をメインモチーフに、英訳は当番期が2年生だった1990年当時、オーストラリアから交換留学生として就学していた1年間を共に過ごしたキャロリンに、今年度の当番期スローガン「未来へつなぐ東筑魂」を英訳してもらったもの。(キャロリンは現在、オーストラリアで日本語を教える教員として活躍中。当番期とは2020年1月、北九州にて再会を果たしました。)※篆刻作品は現在、東筑会館2階に展示中。当番期90期にとっては、「国語の先生」だった石川マール先生の作品と、同期だった留学生キャロリンの言葉が共に並ぶ、とても思い入れの深いグッズです。

②TOCHIKU2020ロゴマーク入りボールペン2種

○シャープペンシルと、黒・赤・青・緑の4色が一体となった多機能ボールペン。
東筑カラーである赤・青・緑をベースとし、日常使いからビジネスまで幅広く活用可能。
○ビュアモルトボールペン
ウィスキー樽をリサイクルした木製軸のシックな単色ボールペン。
ビジネススーツの内側でもジャマにならないサイズ。

③マスキングテープ2種

貼ってはがせる便利な装飾テープ。元々は建築資材の養生テープとして利用されていたものが、近年様々なデザインを施すことが可能となり、セロテープ代わりに手紙やメモに貼って添えたり、身近な持ち物(手帳や携帯など)に貼ってオリジナル装飾を愉しむグッズとして知られている。

○校歌マスキングテープ(40mm幅)

東筑高校の校歌を記した貴重なデザイン。東筑生にとって魂の校歌が記されているため、気分的にも「どこに貼るべきか」悩む一品。また、恐れ多く途中で切る勇氣はなかなかない。ただし、東筑生以外には意味も意図も通じない不思議なグッズ。

○TOCHIKU2020ロゴテープ(15mm幅)

2020年のロゴマークを記したデザイン。どこにでも気軽に貼って使用できる。

④東筑校歌マフラータオル

マスキングテープと全く同じデザインのマフラータオル。手触りと吸水性にこだわった厚みのある素材。

右の①から④はセット価格(五千円)で販売しています。問い合わせや申し込みは当番期メールアドレス

tochiku901992@gmail.com または

TEL 0800-117200-9592 (当番期90期会長小野山) までお願いいたします。



東筑校歌マフラータオル



マスキングテープ2種

TOCHIKU2020ロゴマーク
入りボールペン2種

東筑エコバッグ2020

践しました。1977年、昭和52年に国家文部省が公立学校で国旗、国歌を歌うことを決めたのは、何と私が退職した22年あとの1999年、平成11年です。

公立校退職後、九州女子大学で教育心理学の講座を持ち、教職四十数年、つぐないの道を辿りました。

「日の丸は平和のしるし和の国の心は赤き太陽のごとく」一本松の空高く誉れは聞ゆ東筑の輝け世界の果までも」

東筑大還暦120年、121年目に、初の女性校長、児玉幸子先生を迎え、文武両道、質実剛健と更に優雅秀麗、4万3千人超の卒業生の皆さん!!名門東筑よ!!

バキスタン人、2百万人の命を救った中村哲医師のような、世界人類の為に、命をささげられる人物の出現を期待します。

やれば必ず出来る。世界人類77億人のために!!!

(生存者代表幹事 刀根博愛 記)

42期だより

昔 なつかし

加齢とともに遠方の友とも次第に疎遠となり、42期生の最近の状況も把握できない中で、近隣の級友との会合で出てくるのは東筑在学中の思い出ばかりです。

近くの同級生も少く、更に本年は新型コロナウイルスの問題もあって、この一年は会合の機会もなく、ひとり静かに昔のことを思い出しては懐かしく郷愁に浸っている毎日です。

我々42期生は昭和13年4月に250名が東筑中学校に入学し、卒業後は戦争、終戦、敗戦後の就職難、食糧難等の混乱の中を耐えて働いた世代で、同級生の数も次第に減少し現在は30名程が95歳の高齢者となって、静かに昔を偲んでいる状況です。

振り返れば小学校以来、強まる戦時色

の中で軍国少年として育ってきた我々も、終戦、そして戦後の復興へと昭和の激動の時代を必死に生きてきた世代です。

42期会は昭和28年から数年おきに開催され旧交を温めておりましたが、定年退職が近くなる頃から毎年4月12日に開催され、出席者は当初の40名程度が次第に減少して

きたので、卒寿の年の平成27年4月に解散となりました。以後は近くの者のみで簡単な昼食会が毎年4月12日に開催されています。

出席者も最近は4、5名となり寂しくなりましたが、会えば話題はいつも東筑時代の行事ー開校記念日のマラソン、教員査閲等々と限りなく、時間のたつのも忘れて楽しい時間を過ごしております。

記憶力が衰え足腰が弱くなると新しいことは体験できず、級友との会話の中で遠い昔のことを思いだし、昔話に花を咲かせるのが楽しみです。

早くコロナ問題が収まって、みんなと会合のできる日を待ち望んでおります。

(幹事 吉田繁美 記)

59期だより

『堀川』と『高倉 健』

昨年8月、テレビ西日本の特報ライブ『鉄矢が行く』で折尾の堀川や本町通りなど、古き良き時代の街並が紹介されました。出演者は武田鉄矢と美人の新垣泉子アナウンサーでした。

取材に先立ってテレビ局から、折尾愛真学園に協力要請があり、その案内人に、理事長とは同期のよしみで私を推薦してくれました。

事前の打ち合わせで散策コースが決まり、最後は愛真学園でハンドベルクラブの演奏を披露し終わる予定でした。

とはいえ、本番では予定のコースに加え、

武田鉄矢が憧れていた高倉健の母校を、是非とも見せたいと思いデレクターに無理を言って東筑高校へ案内しました。結果は大成功でした。

武田鉄矢は、高倉健の母校が東筑と知っていたようですが、訪れたのは初めてで大変喜んでくれました。本人に再会したかのように感激し、新垣泉子さんと正門に手を合わせ、しばらく佇んでいました。

番組は好評だったようで3回も放映されました。高倉健が亡くなって6年になりましたが、命日が近づくと、折尾駅東口前の堀川に黄色いハンカチが旗めくようになりま

す。高倉健を偲んで、地元ボランティア「堀川再生の会・五平太」の皆さんが毎年準備しています。

健さんは、このレトロな堀川沿いの川端通りがお気に入り、通学路にしていたようです。現在、この通りの愛称名は「健さん通り」、そして東筑橋から左に折れ東筑に上る坂道は「仰木坂」とも云われています。

堀川は平成19年経済産業省より、歴史的価値ある施設として、「近代化産業遺産」に認定されました。

また、昨年は文化庁より日本の文化・歴史的重要な由緒ある運河であると評価され「歴史の道百選」にも選ばれました。国の機関二ヶ所から選定されるのは稀なこと

です。

※堀川は、初代福岡藩主・黒田長政が、氾濫を繰り返していた遠賀川一帯の治水を目的に計画されたものです。

1621年に開削開始、長い中断もあり1804年に遠賀川と洞海湾を結ぶ全長12kmの運河が完成しました。

堀川は、治水・用水に加え農産物の運搬にも寄与し、明治後半以降、昭和の初めまで、鉄道と共に筑豊の石炭を「川舩」で洞海湾へと運び、日本の近代化産業を支えました。

(大崎好一 記)



堀川にたなびく黄色いハンカチ



東筑高校を訪れる武田鉄矢

66期だより

古希の集いとコロナ禍対応

66期生も大半が古希を迎えましたので、昨年11月5日に三重県鳥羽で同窓会を開催



三重県鳥羽の宿で再会(令和元年11月5日)



内宮参拝 宇治橋前(令和元年11月6日)

北九州市での「新年同期会」(イタリアンレストラン香味屋にて)
令和2年1月18日下関市での「ふぐの会」(下関 大黒荘にて)
令和2年2月8日

しました。全国から男性23名、女性5名が集まり、東京在住の白浜君が卒業アルバムから作ってくれた、参加者の高校時代のD・V・D画像をプロジェクトで写しながら、それぞれが近況を報告しました。翌日は、今後の心身の健康を祈願するため伊勢神宮の内宮に参拝しました。昼食には、地元三重県在住の久恒さんのお勧めにより伊勢名物の「てこね寿司」を皆でおいしくいただきました。この後現地解散となりましたが、有志13名は名古屋から飛騨高山まで移動して一泊した後、高速バスで白川郷に向い、多くの外国人観光客とともに、村内を散策しました。その日の内に名古屋まで戻って解散し、地元へ戻りましたが、鳥羽、伊勢、白川郷と天候には恵まれたものの、かなりの強行軍となり、新幹線への乗り継ぎなど時間に追われました。しかしながら、まだまだ体が元気なうちに多くの名所を皆と巡ることができて良い体験となりました。

旅行から帰って、しばらくたった頃に新型コロナウイルスの影響が出始めました。福岡県にも緊急事態宣言が出され、人の移動や、3密の自粛が要請されました。飲食店も来店客が激減する状況になり、66期生の拠点としてお世話になっている折尾堀川沿いの「つぐし亭」も大きな影響を受けました。同期生である店主の奥野君を支援しようという声上がり、利用日限を1年以上に設定した飲食予約券を発行することになりました。同期生に協力の呼びかけを行ったところ、三カ月間で40名から90口の申し込みがありました。卒業以来半世紀以上が過ぎていますが、東筑高校で机を並べた同期生の熱い友情を感じました。次の同期会は、喜寿の年を予定しています。次の同期会(幹事 加来久幸 記)

70期だより

東京でも、福岡でも同期会開催
「当番期からちょうど20年」

70期は、当番期であった「ミレニアム2000年」から、早いもので今年ちょうど20年を迎えます。昨年5月に東京東筑会の同期の主催で「65歳記念旅行」を開催。全国から多くの70期同窓が東京に集まり日光と奥日光方面への旅を大いに楽しみました。

さて、今年は3つの集いを紹介させていただきます。

①【北九州市での新年同期会】

毎年市内八幡西区にある同期が経営するイタリアンレストラン「香味屋」を貸し切ったの懇親会。当番期だった2000年からの毎年開催です。遠く久留米から来てくれたり、初めて参加してくれたりした同窓もいて、美味しいイタリア料理に舌鼓を打ち

東京での「新年同期会」(神田 は満寿司にて)
令和2年1月18日

ながらのお酒。とても楽しい会となりました。

②【東京での新年同期会】

毎年、東京の神田にある「は満寿司」で開催されています。昨年度に実施した「65歳記念旅行」の反省会も兼ね、12名で美味しい寿司とお酒をいただきながら、楽しい時間を共有しました。

③【下関でのふぐの会】

3年5組が中心となった企画でしたが、級友数名からのリクエストにより、今年久々の復活開催です。他クラスからの参加も大歓迎で、13人が下関の「大黒荘」に集まり、下関名物のふぐのコース料理を楽しみました。遠路関東在住の級友も3名が参加してくれました。ふぐ刺し、ふぐ唐揚げ、ふぐちり、ふぐ雑炊・・・フグ料理を堪能しました。

3つの会とも、話題は還暦後の生活、健康、孫の話等様々ですが、和気あいあいの楽しい時間は70期の級友にとってかけがえないものとなっています。

(青野元昭 記)

71期だより

殖生先生 最終講義

「今までありがとうございました」

悲しいお知らせです。

東筑会の総会時に私達71期生に古典の講義をしていただいた、殖生先生が令和2年1月20日逝去されました。

先生のお人柄を慕って多くの教え子がお通夜・告別式に参列しました。

はからずも最後の講義となった令和元年6月東筑会の様子をご紹介します。在りし日の殖生先生を偲びたいと思います。(合掌)

事情により1年遅れになりましたことをお許しください。

初春令月、氣淑風和

殖生先生、新元号と万葉集の授業

殖生先生の古典の授業は、令和元年で13回を数えます。

令和元年は67期の5人の先輩方もご聴講くださり、31名の参加がありました。

「しよしゆんのれいげつ、きうるわしかぜやわらぐ」「現代訳:時は初春のよい月、(令)は、艶があるように美しいの意)天気もうららかに風はおだやかだ」万葉集梅花の32首序文から、新元号の「令和」が引用されたのはご承知の通りです。

この序文は、万葉集の編者とされる大伴家持の父、大友旅人が記したといわれています。730年に自身の邸宅で宴を開きました。それは中国の書家・王羲之が催した「曲水の宴」とその様子を記した「蘭亭序」に倣ったものと考えられます。

大宰帥は貴族の中でも上から5本の指に入る高官です。旅人は723年ごろ63歳の時、家族と一緒に赴任します。その時筑前守として「大宰府」に赴任していた山上憶良らと交流を深めます。旅人の邸宅は現在の坂本八幡神社や月山の東(月山東地区官衙かんが跡)にあったと言われています。息子の大伴家持は叔母の坂上郎女の指導もあって、ご存知のように奈良時代を代表する歌人となりました。

古典や歴史の教科書に出てくる人が星のごとく登場する大宰府。「令和」のふるさと福岡で新元号とともに古代のロマンに浸ってみてはいかがでしょう?

参考文献「グラフふくおか」

No.595 2019年夏号(三宅 記)

僭越ながら、当日の私の弔電をご披露いたします。

「突然の訃報に茫然自失です。高校の時の授業や東筑会総会での13回の、古典の講義

のどれもが楽しかったです。ありがとうございました。ゆっくりお休みください。殖生先生の教え子で幸せでした。71期会会長 三宅正輝」

(幹事 三宅正輝 記)



在りし日の殖生先生



これが最後の授業になろうとは(令和元年6月8日)

82期だより

北九州マラソン

東筑OBのラン仲間とともに北九州マラソンに参加しました。落選続きで岡垣町出身者に北九州市は冷たい(倍率通りです)と言っていた私は150組限定のベアマラソンに奇跡的に当選し、神戸から帰省を兼ね参戦しました。相手は82期で一番遠くにいて一番元気なWさんです。大会のためだけに英国から一時帰国しました。当日は生憎の雨もWさんは元氣いっぱいスタートです。(以下「」はWさん)

「日本のマラソン大会は初めてだったのですが、前日の受付会場やその周囲のイベントに市をあげて盛り上げている様子が伝わってきました。スタート地点が映画「図書館戦争」の舞台である北九州市立中央図書館のすぐ傍で個人的にテンションが上がりました。マラソン中はあと何mで給水の表示とか、梅干しやたくあん、給食がある等、ランナー向けの日本ならではの出来事に一つ一つ感動しながら走りました。沿道で多くの友人にも会え、やっぱり地元の大会は嬉しいなと実感しました。打ち上げも楽しく、「わざわざ」帰ってくる価値が十分ある週末でした。」



同期会のはしで酒

私は小倉駅前で襦袢を受け後半22キロを走りました。フルランナーが雨と寒さで20キロ苦しんでいる間、珈琲飲みながら雨宿りしていた私は申し訳ないくらい元気です。エンジンの東筑Tシャツに知らない人からも多くの声援を受けパワーは増す一方です。北九州でしか味わえない楽しいあつという間の22キロでした。ランチームの打ち上げ、同期会のはしご酒も楽しい一日でした。

コロナ禍でこれが私の最後のマラソン大会となりました。来年の北九州マラソンは中止です。再来年の開催と当選を信じてランとくじの練習に励みたいと思います。

(壇 一平 記)



東筑ランチチーム

編集後記

左の写真は、東筑の校歌誕生に尽力されたお二人の写真です。左の方は、東筑で現代国語を教えていただいた「原 勝文」先生(32期)。西日本新聞に掲載された「東筑人脈」という記事での再会でした。語り口が面白く、温かい原先生の当時の授業シーンが次々とよみがえってきました。その原先生が、東筑の校歌誕生に深く関わっていたらつしやったとは……。全く知りませんでした。

写真右は原先生の大学の先輩である作家・劇作家の「伊馬春部」氏。校歌を作詞されることになる折口信夫先生と原先生とをつないでくださった方です。記事には、「東筑校歌誕生の師弟コンビ」と記されています。



校歌誕生の師弟コンビ、伊馬春部と原

改めて校歌の歌詞を3番まで読むと、1番「朝」、2番「昼」、3番「夜」という表現以外にも、1番は「海」、2番は「山」、3番は「空」というように、「海・山・空」がバランスよく配置されています。2番、

3番までは中々歌う機会はありませんが、母校東筑の校歌はやはりすごい歌なのだと思感した次第です。

さて、東筑会報は「41号」を発刊する運びとなりました。会報誌作成に協力いただきました東筑会や東筑高校関係者の皆様方には、心から感謝申し上げます。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、東筑会の全体総会・懇親会をはじめ東筑会関係の諸行事が中止となりました。当番期にあたる90期の皆様。当番期運営に数年がかりで準備されてきたことと思いますが、今回、当番期の延長・継続となりました。今後の見通しが立てにくいでしょうが、「未来へつなぐ東筑魂」のスローガンのもと、引き続き東筑会の当番期運営をよろしくお願いいたします。

さて、本誌面「各地区東筑会だより」では、10地区からの投稿をいただきました。コロナ禍の影響を受けつつも、PC端末を駆使した地区東筑会のオンライン会議やオンライン懇親会等、早速、交流のあり方を工夫いただいています。また、コロナ禍の影響で総会・懇親会は開催はできなかったものの、その経緯や今後の活動予定も投稿

していただきました。北海道から九州まで、それぞれの地域での同窓会活動、コミュニケーションの温かさを感じています。

「各期だより」では、39期の大先輩から82期まで、7本の投稿をいただきました。毎年、母校東筑への熱い思いや、同期ならではの強い絆に深く感じ入っています。

それから、今年の東筑会報では、2つの新しい企画「各界で活躍する同窓」、「部活動OB会だより」を掲載しています。東筑をもっと知り、同窓の絆を更に深めたいという思いからです。今回は、7つの部活動OB会、4名の同窓の方に執筆いただきました。急な依頼にも関わらず、快諾のうえ、投稿いただきました。本当にありがとうございます。急な依頼にも関わらず、快諾のうえ、投稿いただきました。本当にありがとうございます。急な依頼にも関わらず、快諾のうえ、投稿いただきました。本当にありがとうございます。

会報委員長 青野元昭(70期)

これからの東筑会の情報は ウェブサイトでチェック!!



- ・必要な情報はプリントアウトで即保管。
- ・懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- ・場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- ・同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp

新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 藤澤)